大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊 四月十一日

定價 一ケ月一圓 一部五錢　廣告料 一行一圓三十錢 一ケ月一圓十五錢　特別同 二圓五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越內之介

けふ、皇帝陛下 多摩陵に御參拜

大正天皇の御靈前に御拜禮

【東京國通】滿洲國皇帝陛下にはけふ十一日午前多摩御陵に御參拜あらせられ神鎭まります大正天皇の御神靈前に親しく御拜禮遊ばされた

○

此日陛下には陸軍禮式通常禮裝に菊花大綬章同章蘭花大綬章同章を御佩用、沈宮內府大臣以下隨員等を隨へさせられ午前九時自動車にて赤坂離宮御出門、同九時十分宮廷列車で原宿驛を御出發遊ばされた

○

御道筋には日滿兩國旗はためき府下の靑年團、在鄕軍人、小學生等整列して奉迎申上ぐれば陛下にはおしたげに御擧手の禮を賜りながら士の香匂ふ囯國の新綠を賞でさせられつつ、やがて十時十分東淺川驛に御着、これより再び自動車にて多摩陵に御參潾遊ばされた、第一鳥居よりの御陵道は淸掃されて玉砂淸く北山杉の綠も鮮である

○

陛下には第二鳥居前で御下車御手水を遊ばされ古河陵墓監督がせられつつ石段を靜かに上らせられ菊の御紋章燦と輝く皇族御拜所に御參進、御陵の御前に淸らかな花環を捧げられ、おねんごろに御拜禮、しばし御默禱あらせらる、此の時廿里山の峰々神殿の瑞氣充ち神域は肅として靜まりかへろ、つゞいて沈宮內府大臣以下隨員、接伴員の恭々しき禮拜あり、御參拜了らせられた陛下には再び自動車に召され東淺川驛より武藏野の風光を御觀賞あらせられつつ一路御歸京、同十一時五十分原宿驛御着車、御機嫌麗はしく赤坂離宮に入らせられた

あす十二日は 御外出あらせられず

【東京國通】皇帝陛下には御休養の十二日は一日中文獻を離宮階上の御書見室にて御覽遊ばされる御豫定であるが、御備へする書籍は宮內省圖書寮に於て御撰定申上げた結果宋版の漢書其他五十典と決定したが、我宮中の書庫にのみ秘藏されてゐるに比類無き珍らしい漢書で古代支那文化をその儘觀る寶物である

勸進帳の 辨慶盡忠に 皇帝陛下いたく御感動

【東京國通】歌舞伎座に擧行された市主催の奉迎會に臨ませられた皇帝陛下には牛塚市長、大谷松竹社長の御說明で日本歌舞伎を御興深く御觀賞遊ばされたが、取分け勸進帳は一座の熟演と共にその筋書に御關心を有せられ離宮に御歸還後側近者に向ひ辨慶の盡忠は武士の龜鑑であるといたく御感動の御言葉を洩らされた由である

皇帝陛下が同奉迎會より御歸還の際は近日にない豪雨であつたが京橋各校の小學生は雨にもめげず日滿國旗を打振り奉迎申上げた、張侍從武官長はこの熱誠に感激の淚を禁める事が出來なかつたとの事で、御歸還後側近者がその由を奏上すると皇帝陛下には御躍をくもらせ給ひ「自分も同感であつた」と宣はせられ一同大いに恐懼せる由である

離宮衞兵部隊に 勞を犒はせらる

【東京國通】皇帝陛下には御旅館赤坂離宮警衞の任に當る衞兵部隊に本庄侍從武官長を御差遣その勞を犒はせられたが九日には小栗警視總監に御慰勞の言葉あり重ね重ねの有難き御諚に關係者一同恐懼してゐる

拜謁を賜り 荒木大將感激して語る

【東京國通】皇帝陛下には滿洲事變當時の陸相荒木大將を十日午前九時特に赤坂離宮に召され約の間に於て單獨御引見遊ばされ、二時間半に亘り親しく兩國間及び東洋平和の問題等に就き種々御會談あらせられたが大將は離宮退出後光榮の此日の感想を左の如く謹話した

私は昭和二年參謀本部第一部長當時天津で陛下に拜謁したのであるが、今回久方振りに拜顏したにも拘はらず非常に御機嫌麗はしく我國の朝野の關係と皇室の敦い御饗應に對して深厚なる御感謝の色を示されれ、私がお疲れ遊しませぬかと伺つたところ「疲れないと言ふ感じは少しもない疲れを感ずると言ふ心の餘裕すらない」と仰せられた、程御爽やかに拜せられた、滿洲國民の安康に就て種々御心を懸けさせられ陛下の御話はすべて之に關した事のみであり兩國の固き提携が東洋平和の礎石となるとの强き御信念を有せられ現在の國際政局に處して新らしき世界平和機構建設に關して非常に豐富な而も卓越した御意見を御示し遊ばされた事は唯々恐懼感激したところである、殊に中華民國の將來が東洋和平又日滿兩國の理想顯現の上に大關係があり國民が一日も早く同じ平和の氣持になり東洋平和、世界平和に進む事となればそれが滿洲國民の安康を招來すると御考へ遊ばされて居られる點は洵に御英明と申すの外はない、又常に己を治めて他に及ぼすの帝王の精神を持せられ此理想を顯現するには賢臣を擧げる事が最も必要であると仰せられたが實に王者の德を備へられた陛下として感激申上げた

又 天皇陛下に對せられては深く御信賴遊ばされ一體不可分に考へさせらる、と拜察した、滿洲國が斯の如き英明なる陛下を戴きその御統治に依つて一路平和へのコースを進みつゝあることは全國民のこの上ない幸ひであり、世界平和への我國と共同の理想は必ず具現するものと信ずる、長い御話にも少しの御疲れも見せられず私が退出する際、特に御握手をさへ賜つたが私としては光榮此上も無い事であり、將來兩國の理想に向つて益々强く進む決心を一段と强くした次第である

滿洲御料理にて 御五方を御歡待遊さる

【東京國通】皇帝陛下には十日夜六時三十分赤坂離宮に秩父宮同妃、高松宮同妃、澄宮の五殿下を御招き遊ばされ皇妹三格姬と共に御故國の滿洲御料理で御歡待、そぼ降る春雨が御苑の池面に煙る宵を打とけさせた御交驩團欒に過させられた、この後は御主人格の皇帝陛下並びに秩父、高松兩殿下には瀟洒たる燕尾服を御着用、兩妃殿下には御美しい御洋裝、三格姬には楚々たる滿洲式の禮裝にて六時過ぎ離宮狩の間に御參集、先づ皇帝陛下と御會見の後三格姬は皇帝陛下の御紹介で高松宮同妃殿下に初の御對面を交されて六時三十分御七方のみで御會食に入らせられ、林出行走の御通譯にて御歡談の裡に御自慢の滿洲料理の厚き御もてなしを受けさせられ八時三十分過ぎ五殿下には御暇を告げさせられた

觀櫻御會御召、各方面挨拶、明治神宮、靖國神社參拜、遊就館見學、多摩御陵參拜、幼年學校、士官學校、戶山學校步三見學、衞戍病院慰問、日光及中禪寺見學、天長節觀兵式陪觀、步兵學校、騎兵學校戰車隊、氣球隊、鐵道隊、諸工廠見學、二十八日橫須賀(軍艦、航空隊)見學、新聞社見學、市內見學、二十九日東京發、三十日伊勢內宮、外宮參拜奈良着、五月一日桃山御陵參拜、京都にて第十六師團留守司令部訪問、京都見學三日大阪着第四師團司令部訪問、造兵廠、造幣局見學、大阪市見學、五日宮島着、海軍兵學校見學、嚴島神社參拜同日發、六日釜山着同日京城市見學、八日新京着、九日解散

內閣審議會副會長に 藏相の就任要請

床次、町田兩相から交涉

【東京國通】政府は內閣審議會及び內閣調査局の設置準備を急いで居り、近く具体的協議をだす豫定であるが、先づ第一の仕事としては高橋藏相に對し內閣審議會副會長就任方を要請する筈で床次、町田兩相は一兩日中に高橋藏相を訪問、就任方を懇請しそれより更に岡田首相が正式交涉を爲す豫定で高橋藏相が就任を受諾すれば直ちに高橋、床次、町田の長老閣僚會議を開き審議會及び調査局の構成並に人選方針等に就き協議を進める事になつて居る

佛ソ軍事協定成立說に對する 外務當局の觀側

【東京國通】佛ソ軍事協定成立說に對し外務當局は左の如く觀測して居る

ドイツの侵略を豫想して佛ソ間に軍事同盟が成立したと言ふ事は屢々聞いたがその後確聞するに成立しないと言ふことで、此問題には相當の宣傳がある樣だ、然しながらソ聯邦は特にドイツの敵視を怖れて能動的となりフランスに本件を持込んで居るのは事實らしくその可能性の充分ある事は注目すべきだ

第四回 支那留學生決定

【東京國通】日支親善百年の大計を目指して外務省對支文化事業部が毎年支那へ年若い留學生を送つて居るが本年度第四回の留學生二名が十日決定した

府立第一商業學校二年 大久保任晴
府立第三商業學校二年 兒島敬晴

の二人で何れも年齡十五の秀才揃ひで東亞同文會巻田理事に連れられて來る二十一日神戶出帆天津の中日學院に入學引續いて同國の專門學校、大學等最高學校に修學する事となつた

朝鮮人中學校を 滿洲に設立

野口會長總督府と本格的協議

【京城國通】在滿朝鮮人民會聯合會長野口多內氏は滿洲に朝鮮人中等學校設立案を提げて九日朝入城總督府に外事課長を訪問したが之が設立補助金並に民間よりの寄附募集に關し同日午後から關係官民が參列協議した も之にて圓滿解決を見る模樣である

皇帝陛下靖國神社御參拜

皇帝陛下には御來訪第一夜を赤坂離宮の奧深く暖かき夢を結ばされて御機嫌殊のほか麗しく夜來の雨霽れて陽光さんさんと降り注ぐ七日午前九時半御旅館御出門明治大帝の神鎭まります明治神宮に御參拜つゞいで聖德記念繪畫館を御巡覽、靖國神社に御參拜遊ばされた(寫眞は靖國神社御參拜の皇帝)

營口大火損害 滿鐵見舞金て解決せん

【營口國通】去る三月十四日營口野積の棉實より發火損害三十萬圓と稱せられた營口未曾有の大火の後仕末はその後荷主側と滿鐵側との間に數次折衝を重ねた結果此の程解決の曙光を認めた、即ち四月四日滿鐵重役會議に本問題を上程し協議の上滿鐵より十八萬圓程度の見舞金を交附する事に決定せるものの如く約廿日間に亘る兩者の曲折ある交涉

滿洲國武官 日本見學團 けふ出發

滿洲國武官日本見學團は承德地區司令官王永淸中將以下二十九名と指導官として軍政部顧問田中少佐他二名及通譯等一行三十七名で十一日午前十時あじあで新京發大連經由渡日し東京、日光、伊勢、奈良、京都、大阪、神戶、吳、宮島各地を見學五月八日新京歸着の豫定であるが、昨九日正午一行は張軍政部大臣及佐々木最高顧問の訓示を受け十日午前十時より關東軍司令部駐滿海軍部、國務院、宮內府を訪問夫々渡日の挨拶をなし訓示を受くるところあつた團長王永淸中將は渡日を前に語る

吾々一行が命を奉じて赴日するに當り感想の一端を述べたい

今回旅行の目的は日本に於ける軍事諸施設その他各方面の事項について見學し先進日本の長所に模範をとり國軍の改善進步に資すると共に他方日本に對する認識を高めて益々親善の實を擧げるにある、目下皇帝陛下は親しく日本を御訪問中にあらせられる事は洵に臣等の感激措く能はないところである、友邦國民の朝野は擧げて熱誠なる歡迎をして居られる事は新聞並に通信に依つて承知してゐるが此の機會に旅行する事は我々の最も光榮に感ずるところである、日本は亞細亞の先進國であり軍備設備並に實力は世界に冠たるものであつて此の實情をよく見て滿洲國軍將來の改善に資する材料を集めなければならぬ、日滿兩國は東亞の二大帝國でこれが親善提携は東亞否世界の和平に不可分の關係を持ち其の深さに依つて强固の度は益々加はるを信ずる

此の意味に於て短期間ではあるが、此間にも親善の實を擧げ度いと思ふ右樣の考へで使命の重大なるを痛感して居り一層重大なる收穫を得る樣努力する今感激と希望に滿ち充ち出發を前にして一言した次第である

一行の日程

四月十日新京發、十一日大連十二日旅順戰跡見學、十三日吉林丸大連發、十六日神戶着川崎造船所見學、十七日東京着、二十九日迄に宮中關係、

その日く

□ けふ皇帝陛下多摩御陵御參拜御心のほど拜察するだに畏し

□ 櫻咲き競ふは故國日本、けふ零下六度を傳ふるは滿洲國首都新京……

□ 交通訓練に先だち、自動車衝突、免狀はともかく訓練を受けてゐなかつたらしい

□ 在滿朝鮮人學徒のため中學校設立を運動、內鮮をかく別にせんとする不可解

□ 一家六人を縛りあげて强盜稼く、これが日本であつたらと思ふ時『滿洲だ』の感深い

張檢閱使一行 四平街へ

さきに吉林延吉方面における檢閱を終へて歸つた張特命檢閱使一行二十餘名は十一日午後一時五十分發列車で四平街に向ひ出發した一行は四平街チチハル、ハルビンの軍隊檢閱をなし二十二日午後三時着列車で歸京の豫定

人事往來

▲李弘寧氏(滿洲國官吏)十日午前來京國都ホテル投宿
▲杉原博司氏(大連會社員)同午後來京同
▲辻竹次郎氏(請負業)同
▲加藤五一氏(京城會社員)同
▲上田駿氏(滿洲國事務官)同
▲岡部猛氏(航空會社職員)同
▲山下笹市氏(鐵路總局)十日午前來京名古屋ホテル投宿
▲廣瀨順司氏(奉天材木商)同
▲田村宣祐氏(同)同
▲佐伯正芳氏(住友社員)同
▲黑田久吉氏(東京會社)十日午後來京名古屋ホテル投宿
▲井上好德氏(奉天造兵所員)同十一日午前發ハルビンへ
▲森岡秀雄氏(神戶會社員)十日午後來京ヤマトホテル投宿十一日午前發奉天へ
▲櫻田楔氏(大連會社員)十一日午前來京ヤマトホテル投宿
▲菅原憲晃氏(奉天實業家)同
▲白井喜一氏(奉天鐵道事務所長)同
▲泉芳政氏(ハルビン地方法院庭長)同
▲米野豐彥氏(滿日記者)十一日午前發奉天へ
▲藤本實氏(大連會社員)同
▲橫尾龍氏(兵庫縣會社員)同
▲池田政雄氏(同)同
▲西澤德一郎氏(奉天會社員)同
▲石丸中將(前滿洲國侍從武官)十一日正午發東京へ

女八人感激時代 最後の切札八枚 (合作)

柳 咲子……吉屋信子
大林梅子……若水絹子
澤 蘭子……夏川靜江
木下双葉……飯田蝶子
(挿畫 大村喜丈)

誤解された純情　若水絹子作

6 散步 (二)

異性といつしよに步いては不可ない。どう云ふことがあつても、異性といつしよに喫茶店へ行くことは止さう、まして夜一緒に步くなどと云ふことは、女性として最もつゝしまなければならないと云つたやうな、彼女の處女十訓は、いつたいどこへ行つてしまつたのだらう。

だが、彼女のこゝろの中で、永井だけはすべて例外だつた。

『いゝわ、あんな純粹な溫和しい人ですもの。お母さまは、ほんとにあの方のことをよく賞讚したわ。ものやさしくて、立派なお……だつて……まつたくさうにちがひないわ、ものやさしい立派な[illegible]だわ』

[illegible]を出たのは、もう六時に近い時間になつてゐた。いつも會社へ通ふのも市電にしてゐたが、今日は四谷からバスにして帝劇へ着いたのはもう六時半頃だつた。

正面の玄關を登るとき、彼女はさすがに胸のときめくやうな氣がしたとともに、もしかしたら、それこそどうしようかと思ふと、永井と一緒に出かけてゐるところを會社の人などに見られでもしたら[illegible]

でもよく考へて見ると、會社の誰が五圓七圓もの切符を買つて音樂などを聽きに來るものがあらうか。そんな[illegible]

から、夢中で[illegible]の家へ歸つて來た。そして、母にはお友達と一緒に帝劇へ音樂を聽きに行くのだと云ふと、母はすぐ承知してくれた。球惠の母は、近所でも賢母として評判が高く、良人の死後は、二人の娘と一人の男の子を抱えて、人からうしろ指もさゝれず今日まで暮してきたのだつた。

球惠は、大急ぎで食事を濟ますと、直ぐお湯に入り、そして念入りにお化粧をした。今年の春造らへてからまだ一度しか手を通したことのない縮緬綸子の着物を着た。

球惠の家は、父の遺産だけでどうにか暮して行けるので、球惠の取つてくる月給袋は、殆んど球惠のまはりのものになつてしまつた。從つて服裝なども大抵のものが調へられてゐるのだつた。

[illegible]して、急いで[illegible]をしたけれども

[illegible]人一人だつてありはしない。萬一そんな人があるとしたら、それは水川さんくらゐのもので、その水川さんはわたしと一緒に[illegible]てゐるんだもの、してみれば誰におそれるところもないわけだ。とかう思うと、球惠は急に勇氣が出て、何となく輕い足取りで階段を上つて行くことが出來た。

正面のホールに充滿してゐる夫人や令嬢の盛裝した姿が、球惠を眩惑するばかりにさんざんと輝いてゐるやうに見へた。球惠は急に自分の服裝のみすぼらしさを思ふと、何だか他人から眺められてゐるやうな氣がして、身のひける思ひだつた。だが球惠は、彼女の心配するほどではなかつたのだ。

どんなに着飾つた人達の間に混つてゐても彼女の所有してゐる落着いた知性的な美しさは、どことなく人目を惹かずにゐないところがあつた。

東京の滿人官民奉迎會

東京在留の滿人官民學生五百餘名の皇帝陛下奉迎會は八日午前十一時半より公使館庭園に於て開かれた(寫眞は(上)皇帝陛下御前にて萬歲を三唱する奉迎者(下)御出迎への左より傅傑氏、潤麒氏、同夫人)

ブレーキがきかず自動車衝突椿事

車を避けた給仕君は負傷　危い！超スピード

十一日午前九時頃南嶺電信隊軍屬窪田要之(二六)が電七號の自動車を運轉し新京郵便局より蓬萊町を衛戍病院に向つて疾走中、西一條と蓬萊町の交叉點近くにさしかゝつた時西一條を北に向つて疾走してくる大タク自動車四九七號(運轉手金昌成)を認め直ちにブレーキをかけたが速力を出してゐたゝめ時すでに遲く大タク自動車に衝突しその反動にて右側電信柱につゝかつて漸く停車した、そのとき電信柱の蔭に車を避難してゐた新京郵便局給仕稻葉虎雄(十八)をタイヤの下敷にし右腕と右脚に全治五日を要する傷を負はせ被害者は直ちに最寄りの堀山醫院にて手當を加へた、一方自動車の被害は電信隊約二百圓大タク七十圓位であるが運轉手はいづれも無事であつた

自轉車一台時價二十圓を竊取し十日午後九時頃市內三笠町四丁目一一六金生堂質店に數布と自轉車を入質せんとせる所を新京署蘇刑事逮捕が取押へた

鐵西關東軍酒保 昨夜全燒す

損害四千圓に上る

十日午後十時頃新京鐵道局慶線用地關東軍代用官舍酒保より發火バラック建九十六坪の同建物を全燒して十一時二十分鎭火した、損害約四千圓、原因は目下取調べ中である

招魂祭の打合せ

きのふ軍司令部で

來る三十日は靖國神社大祭につき當新京でも關東軍主催の下に莊嚴なる招魂祭が執り行はれるがその第一回打合會は十日午後二時から軍司令部會議室において各關係者出席の下に開かれたが、當日忠靈塔前廣場において駐屯部隊、在鄉軍人、各學校生徒、その他各團体參集して盛んに行はれるはずである

滿人惡店員檢擧

本籍河北省天津生れ市內吉野町四丁目五番地滿人恒順昌吳服店洋服部店員崔國棟(十八)は同店々員として雇はれ中昨年十二月二十日シャツ一枚時價二圓五十錢本年二月二十日ズボン一着時價五圓四月八日毛布五枚時價十二圓五十錢同

室町六年生 修學旅行へ

新京室町小學校六年生は北崎、中村、高橋、堀田四訓導に引率されて二十二日午後四時新京驛發の列車で旅大方面に修學旅行をなすことに決定した、日程は五日間で二十六日午後二時新京驛着列車で歸京の豫定で日程は左の如くである

△二十二日(月)午後四時新京驛發列車中一泊
△二十三日(火)午前八時大連著見學滿蒙資源館日本橋停留所より電車にて、埠頭に至り內地行汽船の出帆狀況埠頭事務所屋上より大連港の說明を聞く、電車にて滿鐵本社、滿洲日報社見學協和會館にて中食、電氣遊園地に遊び四時旅館に歸り夕食、夜は八時まで大連見物
△二十四日(水)午前七時バスにて旅順へ向ふ、八時十分旅順著博物館、後樂園、東雞冠山、戰利品陳列所見學、白玉山に參拜記念撮影午後四時十分發汽車にて大連へ夕食後九時まで市中見物
△二十五日(木)九時宿を出發放送局自動電話見學、星ケ浦にて中食引返し八時まで市中見物午後九時大連發車中一泊
△二十六日(金)午後二時新京著

きのふは廿三度 けふは零下六度

でも昨年よりは却つて暖い

大陸にも春が訪れ日中は溫度二十三度といふ暖かさで春や春を謳歌してゐたが十一日になつて突如最低溫度零下六度に急下降し市民をふるひあがらせた右につき觀測所では語る

北支から熱河方面にかけて七百八十六ミリの高氣壓が起つた爲今までの南風が西に變つたため寒くなつたものである、然し例年四月の溫度はこの位のことは珍らしくないむしろ昨年の四月の最低溫度八度二に比べると今年の方が暖い、なほこの寒さは二、三日でまた暖かくなりませう

石丸中將歸東

前滿洲國侍從武官中將石丸志都磨氏は十一日正午發はとで東京への歸國の途についた、驛頭には板垣關東軍參謀副長岩佐憲兵隊司令官、長岡關東局總長、筑紫參議、張軍政部大臣、臧民政部大臣、丁交通部大臣、金特別市長、その他日滿軍官民多數の見送りがあつた

解散の挨拶 白井鐵道事務所長

新京鐵道事務所の廢止に伴ひ奉天鐵道事務所長に轉任した白井喜一氏は十一日午前八時五十分着列車で來京同九時から全所員を所長室に集め鐵道事務所解散の辭及び所長辭任の挨拶を述べ終つて記念撮影をなし、午後は芳賀前所長、中山前庶務長同道市內各關係方面に挨拶廻りをなした

平北慈城郡延豐對岸に匪賊現はる

【京城國通】八日午前十時頃平北慈城郡延豐駐在所對岸に匪賊集結の報に接し同地駐在所員が急遽出動せるに果然十五六名の匪賊と遭遇、交戰の結果擊退、慈城署及び警備國境警察署の應援を得目下追擊中

街の日記

長友會で 石丸氏送別會

新京長友會では今回石丸侍從武官が辭任し內地に歸還することゝなつたので、これが送別の意味をかねて十日午後六時から記念公會堂に同氏を招き小宴を張つて日露戰爭當時の懷古談に花を咲かせ、深更に至り名殘を惜しんで散會した

遺骨凱旋

十一日午後三時着列車にてハルビン及吉林より匪賊討伐中戰死した尊き五体の遺骨が到着同四時直ちに南行する

遺骨あす來京

十二日午後三時着列車にて遺骨十七体到着太子堂に安置される

關東局高等科生に五名合格

過般行はれた關東局高等科生試驗に新京署より左記四名と關東局より一名が美事合格した

△林知成(警務係)△中山藤雄(無電線)△大濱善高(農安分署)△種田捻(高等係)△田淵(關東局)

因に入所式は十五日旅順にて擧行される

松藤警部補榮轉

新京署警務係勤務松藤警部補は十日附關東局警務部警務課に榮轉した

電話局庶務課長異動

新京中央電話局庶務課長佐藤壽太郎氏は四平街電報電話局に榮轉する事となり十一日正午發赴任の豫定である、後任は大連中央電話局加入主任辻正一氏が榮轉七日着任した

つちふる會句會

つちふる會を左記開催致しますから御繰合せ御出席下さる樣御願申上げます

一、時日 四月十三日(土曜日)
一、場所 曙町四丁目十四ノ三、麻姑居
一、兼題 四月、春燈通五句

けふの銀相場

國幣對金票	一〇九.四七〇
鈔票對金票	一三三.二〇
國幣對鈔票	八二.三五
現大洋對鈔票	一三三.五〇

一家六人を縛りあげ拳銃強盜稼ぐ

屆出が遲れ賊は雲を霞

十一日午前六時五十分頃市內三笠町七丁目四番地滿人穀物商寶興糧棧牛玉拔(四五)方に小型拳銃所持の三人組強盜が侵入し家族六名を奥の間に縛りあげ電話線を切斷し外部との連絡を斷ち國幣百四圓、鈔票二十三圓四十錢、金票七十圓五十錢を強奪いづれにか逃走した、屆出に接した新京署では司法主任以下現場に急行實地檢證を行ふと共に犯人搜査に當つたが家人が全部縛られてゐたゝめ屆出までに相當時間を要したため遂に逮捕に至らなかつた

南嶺に三人組

十一日午前二時頃南嶺街滿人雜貨商呼材(三六)方に三人組拳銃所持の強盜が窓を破つて侵入したが家人に發見され一物をも得ずして逃走した屆出により南關署にては直ちに非常線を張り犯人逮捕につとめたが未だ捕はれない

撫順炭坑の慘事

死傷四十七名

【撫順國通】十日午前九時頃撫順炭坑萬達屋坑東斜坑十二片に於て瓦斯が燃燒した爲作業中の日本人二名即死、七名重傷、滿人八名即死、廿八名重傷を負つた日本人即死者氏名次の如し、採炭班長東島三平、同堤國太郎

常岡、小出兩部隊奮戰

【ハルビン國通】△元寶河駐屯の常岡○隊は七日午前十一時新店東南方約三里の地點に於て匪賊と遭遇、交戰三時間にして之を擊退し更に翌八日午前四時三十分新派河頭に匪團あるを知り山寨を急襲し首魁曹以下五名を射殺した

△橫山部隊に屬する小出部隊は去る六日午前十時烏吉密北方約十里の葦子山に於て約百名の匪團と遭遇、交戰六時間にして之を擊退した、此戰鬪に於て匪賊は屍体卅を遺棄し負傷者多數を出したが此戰鬪に於て我軍上等兵梶原清氏は名譽の戰死を遂げた

奉天の女學校改名

奉天高等女學校は奉天浪速高等女學校に、奉天第二高等女學校は奉天朝日高等女學校にそれぞれさる一日から改名された

三劍道教師歡迎會

新京柔劍道同好の諸士に告ぐ關東局警察官練習所教官石橋劍道教師は今回新京署上席教師として着任、又山岡柔教師は新京中學校へ滿鐵に轉任。宮內劍道教師は同樣新京中學校へ着任したので三氏歡迎會を來る十八日午後六時から地方事務所會議室で開催することになつた會費一圓申込者は地方事務所社會係高橋宛當日正午までに屆けて下さいと

全滿春季劍道大會 新京側選手

十四日大連で開催される全滿春季劍道大會に新京から派遣される選手は左の三氏に決定した、一行は十三日正午出發の豫定である

佐藤(商業)生方(鐵事)古石(同)

青年訓練所入所式 新京青年訓練所の入所式は十日午後七時より新京商業學校講堂にて擧行された、定刻一同着席敬禮、辻主事の開式の辭があつて君が代を合唱、辻主事勅語を奉讀、ついで論告の辭を述べ管理者代理地方事務所鯉沼地方係長の告辭、來賓關東軍兵事部野添中佐、四戶聯合分會長の祝辭あり青訓歌を合唱して式を閉じ式後約一時間に至り關東軍秘藏の最近の軍事映畫を上映閉會した因に本年度の入所生は約二百五十名である

ゴルフ選手 米國遠征へ

【東京國通】我ゴルフ職業選手安田、淺見、宮本、陳、戶田中村の六選手は九日午後日枝丸で橫濱出帆日米對抗ゴルフ戰遠征の途に上つた

仙人掌

▲メトロに現れた新人を紹介します、名前は孝子(たか子と讀みます)おかつぱ頭で眼やロの大きい、あのコーリンムーアによく似た女性です、とたんに「ライラック、タイム」なぞを思ひ出させてくれます▲此の間或るおでん屋に行つたら煙草をただでサービスするんだ、大連には若草とか言つて一寸良き子がゐて安煙草を皿に盛つて來る喫茶店があつたがこのおでん屋ぢや親爺手拭を額に卷いてさ、大いに氣焰をあげてたよ、それ何處だ、うん銀パレスの前なんだ……夜の街で拾つた話

天氣と氣溫

明日の天氣 南西の風晴
日の出 午前五時三分
日の入 午後六時十八分
月の出 午前十一時四十八分
月の入 午前一時五十六分
けふの氣溫 最高八、九 最低零下〇、六度

新撰爆笑隊（禁上映上演）

辰野九紫作　永田八浦關英太朗畫

現代篇　五四

小唄レヴュー！（二）

「脇坂の奴、えらい妻君を貰つたものだ。」

「いや、貰ひ物なら、あんなのが、珍しやかな嫁さん面をして來る筈がない。脇坂出來たんだよ」

「僕も左樣思ふ。訊くのもヘンだから默つて舉動を拜見してるんだけど、如何も正式ぢやないね」

「何か思當る節でもあるかい」

「あゝ、この前の日曜の朝あの先生の家に敵意を表したんだ」

「蓄音器に表したんぢや無いのか。」

「先づその邊さ。――昔なら鎧袖に赤合羽といふ處だが、僕は袍袍の上から外套に身を固め脇坂公の御門前に罷ると大變だ。」

「赤垣源藏にでも逢つたかい」

「何に、あれも人の子細拾ひの酒屋の小僧、肉屋の御用聞きに近所の女中か二三人、遠慮れ、男の家のも顔を赤くしてゐた隙だぜ」

「ふむ、さういへばうちの奴も可怪しいッていつてたよ。――直接家内が社交するよか、女中に聽へさせた方が有利らしい先日なんか、牛肉の豚ッてのに、彼奴の聽きでわざと間違へた眞似をして、豚ロースの素敵なのを持つて來やがつた」

「へえ、矢張豚にもロースがあるかい。」

「そんな下らない問題ぢやない僕が近寄つて行くと、一同面白さうに立ち止つて、隙見してるぢやないか。――脇坂公の御家中ドタンバッタンと大變なお賑やかさ」

「はゝア、朝ッぱらからやつてたのか。――無理もないや。――月の二十日前後と來ちやア何家でも始まるシーズンだアね。」

「困るナ、戀しがよすぎて……それどころか、先生の御家庭は、いとも師寂にレコードを掛けて、夫婦相和し男女合唱してゐた。ほら、今小使室で給仕相手に音頭を取つてるだらう。――あれだ。」

「うむ、仕樣のない奴だナ。頭取役の耳に入つたら問題だね。」

「まア、暫休みだから大目に見るさ。――聽いてやれよ。」

おれはブルだよ、葉巻のけむり
カフエーくで、夜も日も暮す
戀はその日の出來ごゝろ
妾や女王よ、社交界のスタア
今日はドライブ、あしたは芝居
飽きりやホテルでテイーダンス
お酒のめく飲んだら踊れ
二度と若い日があるものか
好いて好かれて今日エンゲエヂ
明日は鳥の泣きわかれ

「何だい、ありや？」

「僕も初耳だ。」

「神和の住人は野暮だね。」――

「あれが最新流行の「都會交響樂」といふ奴さ。」

「流石はカフエーの大家、三田の稲さんの事だけの事はある。僕も先生の家で聽いたのが初めてなんだが……雪の朝、湯豆腐で一杯なんて六國なのとはトテモ段違ひさ。幾ら子供がゐないからッて、蓄音器に合せて唄ひつゝ、踊りつちや、大抵御門前にさしかゝつて素通り出來なからうぢやないか。」

「呆れた夫婦だね。――でも、君が入つて行つたら止めたらう」

「如何致しまして――丁度いゝ處へ來たといはんばかりの大歡迎で、僕にも踊らないかつてさ」

「それで、君も演つたのか」

「まさか――僕は蓄音器係りになるといつたら、せめて息繼の水を飲んで來る間だけでもいゝから合ノ手を勸めろといふのさ。」

「剛々しい勇だなア……」

「さうぢやないよ。假令、一分間と雖も、何んで彼奴が他の男に自分の女房の相手をさせるもんか、無論、嫉妬の挑戰さ。」

ラヂオ

十二日（金曜）新京

午前之部

六、〇〇 ラヂオ體操（滿語）
六、一五 ラヂオ體操（大連）
引續き 入港船の御知らせ（大連）
六、三〇 初等滿語講座（大連）講師 秩父固太郎
七、〇〇 初等日語講座（奉天）講師 近藤喜助
七、二二 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 料理獻立（奉天）
一〇、二〇 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、〇一 經濟市況（東京及大連）
一一、四〇 ニュース（東京）

午後之部

〇、〇一 經濟市況（大連引續新京）
〇、三〇 ニュース（滿語）
〇、四〇 ニュース（滿語）
〇、五〇 演藝（レコード）（滿語）
二、〇〇 經濟市況（大連）
二、二〇 成人講座（滿語）（哈爾濱より）公務員應有ノ精神 哈爾濱電業局長 王管章
二、四〇 日用品値段（滿語）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連引續新京）
三、五〇 ニュース（鮮語）
四、三〇 ニュース（鮮語）
四、四〇 演藝（鮮語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間（東京）
管絃樂 東京オーケストラ 編曲並指揮 福田宗吉
一、「行進曲」士官候補生 スーザー作曲
二、「圓舞曲」四月のほゝゑみ デュプレ作曲
三、黑い森の狐狩り フエルカー作曲
五、二〇 コドモの新聞（東京）
五、二五 氣象通報、番組豫告
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 政府公報（滿語）
六、三〇 講演（東京）日滿兩國の歷史的關係 文學博士 西村眞次
七、〇〇 日滿交驩放送
一、（大阪より）尺八合奏 滿洲の春 上田芳憧作曲 三部 上田芳憧 二部 上田竹憧 一部 上田相憧
二、（奉天より）新滿洲歌曲 奉天新滿洲歌曲團 指揮並編曲 神原恭男
一、滿洲國歌 二、小桃紅 三、小牧羊 四、雨打芭蕉 五、小花鼓
七、四〇 東をどり―新橋演舞場より中繼― 花の週間（第六夜）世界の曙 海の日本 新橋藝妓連中
中内蝶二作詞 （清元）清元延壽太夫 （清元）清元榮壽太夫 （常磐津）常磐津文字兵衛 （長唄）杵屋寒玉 （長唄）杵屋六左衛門 （鳴物）福原百之助 （洋樂）山崎裕康 作曲
序 青海波（長唄）
一、尚武の節句（長唄）
二、鬼ヶ島征伐 上、道中（常磐津）下、城門（長唄）
三、海の寶 上、海邊（清元）下、海邊（長唄）
四、豐公の雄圖（長唄）
五、ローマへの使（長唄）
六、山田長政（洋樂）
七、門出の船唄（和洋合奏）
八、四〇 時報、ニュース
八、四五 ニュース、經濟市況（東京）氣象通報、番組豫告（滿語、哈爾濱）
九、〇〇 舊劇（哈爾濱）白娘闘 唱 于佐臣 曲子義 李慶鈞 場面 桂春榮 外五名
一〇、〇〇 北滿の時間（露語、哈爾濱）
一、講演 北鐵接收後に於ける滿洲國の經濟的發展 ローゾフ
二、レコード
三、ニュース

新進青年手合（其六）

先番 高川格（二段）
瀨川良雄（二段）

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九
いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ

○四二 りノ四　●四三 りノ三　○四四 ぬノ三　●四五 るノ二　○四六 ぬノ二
●四七 とノ一　○四八 らノ二　●四九 へノ三　○五十 りノ二　●五一 粘ぐとノ三
○五二 るノ四　●五三 ぬノ五　○五四 をノ四

六段 久保松勝喜代講評

白四二を四三では黒（い）白四八黒（ろ）と突き拔かれる。又白四二を（い）は、黒に四三と引かれて詰まらぬ。黒四三と受ける外はない。白四四も藏る一手。黒四五で單に四七に拘へる意味もある。順の如く四五と締ねて、白に四六と下らすと、自然白は四八、五十と絞られる結果になるからである。白四八、五十と絞つて、黒に五一と二目粘がせてから、白五二と藏り、黒五三、白五四と行びるのは手順である。白四八にて直ちに五二、黒五三白五四、黒（い）となつてからでは白の四八に對し、黒（ろ）と打ち拔かれて了ふ。白五四を（は）は、黒（に）が利かされる事になる。

居住消息

▲加藤好松氏（東京府）吉野町一丁目十一番地大重方へ
▲原孝氏（茨城縣）東二條通り五十六番地吉備洋行へ
▲鎌田久五郎氏（北海道）旅順から芙蓉町陸軍官舍六十七號西へ
▲山田見五氏（新潟縣）敦化から三笠町四丁目五番地永島方へ
▲寺島鍛氏（長野縣）梅ケ枝町一丁目十四番地へ
▲織本輝吉氏（東京府）中央通十三番地ノ一へ
▲岡田清松氏（群馬縣）蓬萊町一丁目八番地へ
▲田澤與四郎氏（山形縣）安東から梅ケ枝町三丁目八番地木島方へ
▲小玉吞象氏（東京府）梅ケ枝町三丁目六番地新都ビルへ
▲横井矩一氏（香川縣）同

轉居

▲大藤傳治郎氏三笠町から梅ケ枝町三丁目六番地新都ビルへ
▲後藤今治氏朝日通りから同
▲佐藤敏夫氏大同自治會館から同
▲池田正巳氏千島町から同
▲鈴木秋義氏三笠町から入船町四丁目へ

出生

▲中村貢氏（日出町七丁目二番地）三男秀雄さん一日出生

死亡

▲島田惠氏（富士町三丁目二十五番地）長女壽美江さん八日午後一時三十分死亡

金曜 四月十二日　戊午 舊三月十日　赤口 二十日　滿 牛宿

●一白の人 順を守れば天稟の官祿は自から授かるべし 壬と癸と丑が吉
●二黑の人 自由行動の執る日引込思案は却て損あり 乙と巽と丙が吉
●三碧の人 之と云ふ苦は無けれど元氣付かぬ日なり 庚と癸と丑が吉
●四綠の人 輕々しく乘氣になる時は存外の破敗ある日 庚と癸と丑が吉
●五黃の人 小事に拘捉せられて大事に手落を生じ易し 巽と庚と辛が吉
●六白の人 不安の位置にありても誠意あれば引立らる 甲と乙と丙が吉
●七赤の人 運氣强きやうに見えて却て弱し進むは大凶 乙と巽と丁が吉
●八白の人 日は再び戻り難し勇を鼓して奮勵するに吉 丙と丁と庚が吉
●九紫の人 活動力の減退し易き日持久心を養成すべし 庚と辛と癸が吉

新京日日新聞
朝刊
夕朝刊共十二頁
本紙定價 一部五錢 一ヶ月一圓 郵税一ヶ月十五錢
廣告料 普通一行 一圓三十錢 特別同 二圓五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越内之介

廣田外交の前進
日ソ懸案解決交渉へ
期待をかけられる
大田大使の露都歸任

【東京國通】廣田外相は北鐵交渉成立後駐日ソ聯大使ユレニエフ氏と數次自由會談を遂げ日ソ國交調整の爲外交的基礎の確立を期し今後とも之を繼續する筈であるが、右と同時にモスクワに於ても外務人民委員長リトヴイノフ氏等の幹部と大田大使をして交渉を開始せしめる事となり廣田外相は大田大使の出發に先立ち之が訓令を授けるところあつたが、大田大使當面の重要任務は漁業條約改訂交渉、一九二五年の日ソ基本協定に基くシベリア森林權確保の交渉、日ソ關係に常に暗影を投じつゝあるソ聯の國境軍事施設に鑑み日滿ソ三國國境に於ける駐兵撤退、防備撤廢並に之に伴ふ善後措置即ちポーツマス條約援用による無防備地帶の設置、國境紛爭調停委員會の設置等に關する接衝であつて多大の期待が懸けられて居る

各遞信局を合併し 全國無線統制

【東京國通】諸外國並に殖民地間を僅か十五分か廿分程度で繋ぐ無線電信の利用は全國的に年々增加の傾向にあるが一旦内地に入つてから有線に連絡するため四十分乃至一時間と著しく時間を要することとなり無電の使命に反すると云ふのでこの弊害を除くため遞信省では東京、名古屋、大阪、鹿兒島、那覇各中央電信局及び各無線電信局を合併することに決定、十一日この旨關係各遞信局に通知した、加入局では直ちに準備に取りかゝり五月下旬には合併が實現するものと見られ將來の無線は著しく時間が短縮されることとなつた

滿人旅客の案内記作成
觀光局新計畫

【東京國通】日滿兩國民の固い握手に依り昨今來朝する滿人は續々踵を接し國際觀光局調査にみても斷然入國外人のトップを切る程で一きわ目立つた現狀を呈して居り約一ヶ月二千四百人乃至二千四百五十人見當の入國數が推定され一、二月の累計では他國を壓して一二七パーセントといふ桁外れの増加を示してゐる、之に鑑み觀光局では一層滿人を吸引し日滿親善を促進すべく滿洲國に於て現在最も使用されてゐる北京官話の日本案内記を本月中に編纂する事に決定、來朝する滿人觀光客に配布、日本研究の便を圖る事となつた

沈宮相 烏氏を見舞ふ

【東京國通】北鐵交渉立役者沈宮内府大臣の片腕として活躍した北鐵督辦公署參事官烏澤聲氏は交渉半ば病を得日本に殘り淋しく靜養中であつたが、沈宮内府大臣は皇帝扈從員の大任の餘暇を偸み十日深更十一時三十分芝三田の烏氏私邸を訪問その勞を犒つた

外國間の戰爭に…… 米國は嚴正中立
具体的細目は未だ決せず

【ワシントン十日發國通】ル大統領は久しい以前から外國間に戰端が開かれる場合、米國政府の執るべき態度に就きハル長官との間に愼重協議を進めて來たが、遂に嚴正中立政策を確立し如何なる場合にも外國間の戰爭に捲込まれる事を拒否するに決定した、但し中立政策の具体的細目は未だ決定せず、大統領は十日特にハル長官を招致し未解決の諸問題に就き重ねて協議を遂げるところあつた

米産銀買上値段 六仙半引上げ

【ワシントン十日發國通】ル大統領は十日夜新産銀買上値段を一オンスにつき六仙半引上げ、七十一仙に決定、直ちに實施の旨公表した

美濃部氏司法處分 十六、七日頃決定?

【東京國通】美濃部學説に對する司法處分の時期に就き主任の戸澤檢事は十一日林檢事總長と打合せの結果、玆數日間更に檢討の上滿洲國皇帝の御退京と來る十五日豬股新檢事の着任を俟つて處分問題に就き協議することに決定した、從つて十六、七日頃には出版法違反で起訴か起訴猶豫か何れかに落着する模樣である

昨午後の皇帝陛下
離宮で古美術を御覽
御物、國寶の粹を蒐めて
多忙の御旅情を慰め申上ぐ

【東京國通】御入京以來連日御多忙にわたらせられる皇帝陛下には十一日午後は赤坂離宮にあらせられ、御造詣深くわたらせられる古美術をはじめ書畫の御觀賞に御過し遊ばされた、帝室博物館では陛下の御旅情を御慰め申上げるため日本をはじめ東洋の繪畫、繪卷物等の御物其他廣く民間の代表的名作二十數點を豫ねて赤坂離宮内羽衣間に陳列したが、此日杉帝室博物館總長、矢島事務官、溝口美術課長等は午後一時離宮に參入、皇帝陛下に謁見仰付けられ、それより皇帝陛下には杉總長の御先導で羽衣間に入らせられ美術課長の御説明にて一々御熱心に御巡覽、奈良朝時代の御物、聖德太子の御像、平安朝の普賢菩薩像を始め春日驗記、動物戯畫等を始め日本代表名畫、宋朝時代の徽宗皇帝御筆の桃鳩之圖、千手觀音像を始め何れも御物又は國寶ばかりの東洋文化の粹に御感興、時の過ぐるも覺へさせられず約二時間に亘つて御鑑賞あらせられた、尚十二、三兩日も光琳の梅花を始め書畫、屏風繪、帝室技藝員の現代名作品を御覽あらせられる筈で十三日には圖書寮からも宋版を始め日本、支那、朝鮮等貴重な和漢書四十餘點文字の國日滿兩國の持つ共通文化を御説明申上げ御覽に供することになつて居る

駐日公使館で 隨員慰勞晩餐會

【東京國通】駐日滿洲國公使館では皇帝陛下扈從の隨員慰勞のため十一日午後六時より丸の内東京會館に沈宮内府大臣以下四十餘名を招待、公使館側よりも丁公使以下館員一同出席晩餐を共にし種々歡談をなし八時卅分過散會した

若山中將 午餐を賜ふ

【東京國通】北滿警備の大任を果して凱旋した若山中將は十一日午前十時廿分參内 天皇陛下に拜謁仰付けられ具さに在滿中の任務及び軍狀を奏上し有難き御言葉を賜はり感激して退下 陛下には更に正午豐明殿に出御將軍御慰勞の思召しで午餐會を催され御陪食を賜り種々御下問遊ばされて入御、將軍は午後一時退下尙畏き邊りでは將軍に對し御紋附の銀花瓶並びに金一封御下賜あらせられた

市關係者の 御禮言上

【東京國通】十日の東京市主催滿洲國皇帝陛下奉迎會に陛下の御臨席を仰いだ東京市では、十一日午前十時廿分牛塚市長、落合、鷲尾兩助役、森松永正副議長は赤坂離宮に伺候し奉迎會御臨場及び御下賜金に對する御禮を申上げた

光榮のサ領事、マ大司教に
御懇渥なる賜謁
恐懼感激して退下

【東京國通】滿洲國皇帝陛下には列强に先んじ同國を承認した中米の友邦サルバドル國駐日總領事レオン、シグエンサ氏並に滿洲國を宗教的に承認、教區として人類幸福の爲に司教を派遣するローマ法皇廳の駐日特派使節ボウロ、マレラ大司教に對し十一日赤坂離宮に於て謁見仰付けられた、光榮のマレラ大司教とシグエンサ總領事は午前十一時四十分離宮に參入、皇帝陛下には多摩御陵御參拜正午頃御歸還あらせらるゝや御通常禮裝にて狩の間に御出ましになり兩氏に對し順次謁見仰付けられ種々懇ろなる御言葉があり兩氏は恐懼感激して御前を退下した

ストレーザ會談 愈々昨日開會
世界の瞳はボロメオ宮へ

【ストレーザ十日發國通】世界の注目を集めて居るストレーザ會議は英國代表一同が最後に到着するを待つて十一日午前十時半からボロメオ宮殿に於て開會、午後一時迄審議續行の上一旦閉會、午後に入り午餐會、改めて第二次會談を續開する段取である、會談は十二日午前十時半から更に續行されるが聯盟理事會との關係上目下の處では前後兩日で一旦閉會することゝなつて居る

北寧鐵路員 日本鐵道視察

【南京十一日發國通】北寧鐵路局では世界的に傑出せる日本の鐵道施設の視察のため交通部に對し視察團一行の赴日許可を請願してゐたが、此程交通部より認可を受けたよつて同鐵路局では廿六名の鐵道技術員を選拔して旅行團を組織し、之に鐵道部交通部の視察團一行を加へ五月初旬上海から渡日する事となつた右視察團一行は北寧鐵路局々長殷同氏が引率し約三ヶ月に亘つて日本の鐵道行政技術を研究する豫定である

滿鐵新京支社設置
機運漸やく動く
綜合事務所の完成を待ち
來年度早々實現か

國都新京現在の情勢に鑑みて滿鐵新京支社設置の必要はいよいよ迫られてゐるが、今回の鐵道事務所の廢止によつて近く新築に着手さるべき滿鐵綜合事務所が最初の計畫である綜合事務所としての意義を大半失ふ事になるので、これを機會に支社設置の機運が却つて濃厚になるのではないかと見られてゐる、即ち現在の在京滿鐵機關としては地方事務所、販賣事務所、新設鐵道部出張所、經濟調査會などがあり、これらを一括して新築綜合事務所に移ることになるが、この間各機關とも何らの連絡もなく、就中軍部滿洲國その他の涉外關係に當つて何ら纏つたものがないため、連絡上多大の不都合を來たしてゐる現狀に鑑みても當然新京支社の設置は早急の問題とされてゐるが、いづれ新綜合事務所の完成と相俟つてこの懸案が一擧に解決されるものゝ如く、新京支社設置の結果は現在の地方事務所が廢止される運命にあり、全部その中に含まれるのではないかと見られてゐる、なほ綜合事務所の新築はいよいよ近く着手し本年中に假竣工の豫定だから支社設置の時機も來年度早々でないかとの觀測は最も確實なものゝやうである

全滿學生へ
南全權大使の訓令

去る六十七議會にて美濃部博士の學説が問題となり之が世の學生に及ぼす影響の重大なるに鑑み南全權大使は在滿學生に對し十一日左の如き訓令を發した

今や内外の情勢を稽ふるに國家の急務は實に建國の大義に基き日本精神を作興し國民的教育の完成を期し依つて以て國本を不拔に培ふに在り我が尊嚴なる國體の本義を明徵にし之に基きて教育の刷新と振作とを圖りて以て民心の嚮ふ所を明にするは文教に於て喫緊の要務とする所なり此の非常の時局に際し教育及學術に關與する者は眞に其の責任の重且大なるを自覺し如上の趣旨を體し苟も國體の本義に疑惑を生ぜしむるか如き言説は嚴に之を戒しめ常に其精華の發揚を念とし之に據りて自己の研鑽に努め子弟の教養に勵み以て其の任務を達成せむことを期すべし

昭和十年四月十一日
滿洲國駐劄特命全權大使 南次郎

駐日白國大使
昨日來滿して語る

【大連國通】駐日ベルギー大使バッソムピエール氏は今回北平への赴任の途十一日午前七時二十分港外着吉林丸で來連、大連居住のベルギー人バイアン男に迎へられ星ケ浦の同氏宅に向つたが、同大使は駐日大使の外に支那公使の公職を兼ねてをり今回は三回目の赴任で、途中大連に立寄つたもので二、三日滯在し支那に向ふ豫定である因に同大使は日本に住む事既に十四年、大の親日家で日本文化の研究家として知られ、日本舞踊等に關する佛語の著書もある程で船中愛想よくカメラにおさまり語る

北平赴任は今回は三度目で別に之といふ政治的な意味もない、大連には舊知の古澤名譽領事が居るから久振りに舊交を溫め度いと思つてゐる、東京では恰度滿洲國皇帝陛下の御來訪中で私も陰乍ら驛頭に御迎へしたが兎に角市民の非常な歡迎振りに氣押されて御姿をよく拜まれなかつたのが遺憾だと思つてゐる、滿洲國承認問題に就ては私は國際聯盟がその規約に依つて定めたところを超えて兎や角申上げる事は出來ぬ、然し乍ら之を常識の問題として考へてみても私個人としての資格なら滿洲國が眞の獨立國家として著しい發展を遂げつゝあり、事實獨立國家としての面目を備へつゝある事は認めてもよいだらうベルギーも世界的非常時の中にあつて遂にベルガ貨の平價切下げを行つた、事の當否は爾後の事情に就てよく知らぬので何とも言へぬが、同法案の實施に依つてベルギーがその經濟的破綻から救はれ同時に歐洲各金本位國の上に惡影響を及ぼさぬ樣念願してゐる、北平に二日、上海に一日滯在して歸りには眞直ぐ東京に歸る心算だ

鐵道部新京出張所長 古川氏着任
=萬事は落着いてから=

今回滿鐵々道部新京出張所々長に榮轉の參事古川達四郎氏は十一日午後五時三十分着あじあにて中村社員を同伴着任したが、驛頭にて次の如く語つた

萬事は落着いてゆつくりしてからのことにしたい、仕事は主として涉外に亘ることであり、隨つて出張所員も今の所極く少數十名ばかりしか來てゐない、然し店開きは早速やる積りだ、新京は私にとつて二回目であるが、長春時代とは違つて隨分立派な新京になつたものだ、古馴染も多いことだし、お目にかゝれるのを愉しみにしてゐる

語り終つて氏は直ちに鐵道事務所の解散式に臨んだが、十一日夜にヤマトホテルに一泊十二日午後飛行機にて哈市に向ふ豫定である

滿洲國軍辭令

軍政部次長、陸軍中將 郭恩霖
第一軍管區第一地區司令官兼混成第一旅長、陸軍中將 王殿忠
第二軍管區新京地區司令官兼混成第十旅長、陸軍中將 李文炳
敍勳二位賜景雲章

伊藤博士 調停委員任命

財政部理事官伊藤博氏は四月一日付滿蘇及日本三國間常設調停委員會滿洲帝國委員を命ぜられた

賀屋主計局長 調査旅行日程

大藏省賀屋主計局長は今般滿洲に於る日本國費行使の實地調査のため滿洲各地を旅行することゝなり

十六日 安東
十七日 奉天
十七日 新京
二十日 ハルビン

の豫定であるが、黑河にも赴く筈である

中銀週報

中央銀行發表―康德二年三月卅一日より同四月六日に至る中銀貨幣發行毎週平均額表左の如し

項目	金額
貨幣發行額	[illegible]
紙幣	[illegible]
準備	[illegible]
保證	[illegible]
鑄幣	[illegible]

偶語

大憤慨生から偶語子に宛てた投書、水道料金の値上げよりも、まづ以て家賃の三割方の値下げを提唱▼何ゆえに社會の木鐸、指導、監視者たる者敢て鐵槌を加へざるかと、その言々句々誠に聽くべくまた味ふべきで、お叱りを受けた偶語子たゞ〳〵恐縮のほかない▼新京に於ける法外な家賃については吾人もとより同感である、建築費を僅か二、三年で稼ぎ出さうといふに至つては實に言語道斷の話で、大憤慨生の仰せ御尤もと存ずる▼現在住宅難を知らぬものは家主に非ずんば恐らく官舍か滿鐵社宅に住むぐらいの者であらう、大多數は途方もない家賃の暴騰に惱まされてゐる▼既に重大な社會問題であるがしかし吾々はたゞ一方家主のみ責めるには當らない借家人自身にもその一部の責めはないかとも考へる、この點詳しくは借家人自身について顧みる必要はあるまいか▼大憤慨生の警告は有難く拜聽する吾々は今後ともこの惱みから脱れるべく出來るだけの努力をつくしたいと思ふ

人事往來

▲古川達四郎氏(滿鐵々道部新京出張所々長)十一日午後着任、名古屋ホテル宿泊
▲中村天爵氏(同社員)同
▲大原萬千百氏(新京地方委員議長)同歸京
▲津田中將(駐滿海軍部司令官)同

社説

アメリカ經濟を檢討す
資本と勞働の對立尖鋭化す

ルーズヴエルトの人氣は高いにも拘はらず「ニユー、デイール」の結果に對するアメリカ勞働者の失望は增大しつゝある。失業者は依然として恐ろしく老大である。アメリカ勞働總同盟の統計は失業者一九三三年三月に一千三百萬であつたものが一年後に於いて一千萬になつたとしてゐる。すなはち新政策の結果として三百萬足らずの勞働者が仕事にありついたのであるが、これは失業者總數の約三分の一に過ぎずしかもそれは就業勞働者の週勞働時間の短縮といふ犧牲を拂つて得た結果である。聯邦準備局の統計は、上記と同じ一年間に、四八%の生産高增加が僅か三七%の勞働者數の增加に依つて得られてゐることを示してゐるつまり勞働者一人當りの勞働能率がこの一年の間に高められた譯である。更に週勞働時間の短縮を考へに入れるならば、一時間當りの勞働能率はもつと甚だしく高められた譯である、この統計は就業勞働者の實質賃銀がかなり增加した樣に計算してゐるが、アメリカ勞働總同盟の報告はこれを否定してゐる。曰く「工業に就業してゐる各個の勞働者は、一九三三年から一九三四年三月までの間に自己の實質賃銀を全然增加させ得なかつた、平均週賃銀は九、七%增加した。だがこの增加は九、三%に達する生計費の騰貴に依つて完全に帳消しされた」ニユーヨーク、タイムスもかかる勞働者の狀態の惡化を報じてゐる。これに反して、アメリカ資本の價値增殖が「新政策」の結果として著るしく好轉したといふことにつひて[illegible]い、一九三四年五月のナショナル、シテイー銀行の報告は前年第一四半期と同年同期とを比較した二百十個の企業の統計を揭げてゐるが前年に二千二百七十萬圓の損失を示したものが同年には九千七百八十萬圓の純利を得てゐるのである。かかる狀態に於いて資本と勞働との鬪爭は尖鋭化せざるを得ない。これに對してブルジヨアジーの一部は、ルーズヴエルトを先頭とし、アメリカ勞働總同盟の指導者たちをも含めてイギリス、ブルジヨアジーと同樣な政策を執らうと欲してゐる。すなはちアメリカ勞働總同盟の勞働組合の承認、長期に亘る賃銀率協約、經濟平和、階級鬪爭緩和がそれである。然るに他の一部のブルジヨアジーは、あくまで「一家の主人」といふ立場を固守し、黄色會社組合によつて代表されてゐる自分の勞働者だけを相手にしやうとし、一切の勞働者運動を强力に依つて叩き潰さうとしてゐる。他方には又、アメリカ勞働總同盟以外に、階級鬪爭の基礎の上に立つ勞働組合の重要性と活動とが增大しつゝあるアメリカ勞働總同盟の指導者たちの資本家に對する友誼的な態度に反對する大衆の壓力が勞働組合の政策に於いて重要性を增して來るに從つて、アメリカ金融資本の內部に於ける反勞働組合的動きはそれだけ强くなる。

北鐵物資支拂品輸送
日本傭船は僅少
銑鐵積込船の歸航を主に利用

北鐵物資支拂品の輸送について我が運輸當業者側の觀測する所によれば買附品目次第で配船その他の手配をなさねばならず品目決定を待望してゐるが、大体に於いて大型機械其他はソ聯側より輸入の銑鐵積込船の歸航を利用しソ側船を用ふる事となり本邦海運業者への傭船引合は案外少きものと見て居り東京方面よりの物資は芝浦又は橫濱積となり關西方面は大阪、神戶積出となるが、至急を要する物資に限り敦賀經由となるものと見られ此の點にのみ我が當業者側の期待がかけられてゐる

滿洲國との貿易（一）
ピーター、フレミング所論

（年少氣鋭の學者ピーター・フレミングがロンドンのタイムスに執筆せるもの、三月十四日の同紙週刊版より譯出する—S、Y生）

滿洲の領域內に這入つて既に二ケ月を經て出て來た旅行者が外國の新聞を取り上げるとき、彼はこの國に究向的にいかなる爆發があらうともそれは西歐がこの國のまはりにもたらす虛僞ではないだらうと決定することを許されるであらう、この點について英國にとり早速興味があるのは、滿洲國との貿易の可能性が輝かしいものである、そして政治的な正しい援助は又勿論輝かしいものであらうとの確信である。若干の外國商人並びに資本家には新聞紙を通じて滿洲國はクロンダイクのやうに見える、そして或る方面では最初に滿洲國を承認する國は高度に利潤のある黃金行進に飛躍的出發を獲得するであらうと考へられてゐる

滿洲の市場において英國或は他の國がいかなる利益を獲り得るか?、滿洲の繁榮は、甚だ多く大豆に依存してゐる、それは世界が突如として發見した商品であるが需要はさう永くは續かなかつた、三千萬住民の購買力を從つて減少した、そして日本がその他の資源を充分に發展せしめるまではここ當分この不況を取り返すことは不可能であらう、それにその日まで、又その後も外國に向つて開かれる市場はただ日本搾が搾取し得ない所の部分だけであるといふことが一層明瞭である、それはどんなものか?若し日本が我英本國に於てすら英國の製造業者に打ち勝つとすれば、日本の勢力が充分に働く所で到底これに打ち克つことは出來ぬ

承認と借款

ただ日本が恐らく自身では要求される額までやれないであらう一つのものがある、それは金である、此處で再び承認の問題が起る、滿洲國を承認した國は借款の交渉に於いてこれを承認せぬ國よりは强力な地位を得るであらう、たが何故滿洲國に金を貸すのかその信用が全く日本が出す資金にかゝる國がいかなる保證を出し得るか?、その政治的發展が未だ國境から戰爭の危險を除去し得ずにゐる國なのだ滿洲國の發展に協力せんとする外國人は安全條件を得て、日本へ金を貸すことが出來る結局は日本がそれを使はしめるのである

上述した物質上の問題の外に承認については尚ほ他の論爭が存する、薄弱な分量の中に最大の重味をもつのは承認が日本との友好關係並びに極東における我が國の地位を改善せしめるであらうといふことである、それは本當の所は根本的にさしたることはないのである、英國が極東における地位を强化さすためになすべき最後の道は、日本をして我らは條約に縛られて思ふ通りに出來ないのだといふことを信ぜしめることがある、だが現實主義者の眼には、そして日本の鬪へる努力は全く現實主義的のものから成つてゐるのだが、われら自身武裝して一九三一年ゼネヴアにおいて立つた時以來の求好でなく、一層の自信を持つべきであると考へられる、勿論、滿洲國承認によつてわれらは面子を失ひ更に支那との貿易をも失ふであらう（つゞく）

日本の新政策を展望す（下）
パリ「ル、タン」紙社説（一九三四年十二月三日）

日露の形勢も赤好轉してゐる數ケ月來立ちこめてゐた戰雲はもはや氷消霧散した。吾人はすでに早くより、日本とロシアの双方がその力を鬪はせる策を棄てて智で以て鬪ふ途に轉向するであらうことを豫想してゐた。筆鋒を以て武器となし『脣舌を以て道具となし彼說すれば我駁すそ、而して自國の權利を克ち收めんとするものである。日露の北部河流漁場問題はすでに終結した。北滿鐵道の讓渡問題も今は確實に實現するものと見られる。廣田外相は、北鐵讓渡問題は今はただ各種要原則の討論と適當な價格の決定だけだと言つてゐる。若干の專門技術の問題解決に時日を要するだけであらう。北鐵事項が見事に解決すれば廣田外相は日露の交誼の增進として更に感無量の愉快さを感ずるであらう。數ケ月前日露の形勢は異常に緊張してゐた、今までに意外な事件が發生しなかつたのは、實に日露の當局が共に双方の各問題を完全に政治的に解決せんことを願つたからに外ならぬ

◇

海軍問題に關しては廣田外相の表示は更に明瞭なものがある。曰く、日本政府は舊日の差等比率を廢棄して公平なる新協約を更に定むべきことを主張するものであつて軍縮の精神に對しては大いに同情するものである、同じやうに縮減し何れの國家をも防備の力だけを有せしめ進攻の力を持たしめぬやう願ふものであると。これは日本の代表團が倫敦會議において表明した態度であつて誰しも知つてゐる所であるが、若し佛伊兩國が特別な原因によつて日本のワシントン條約廢棄の提案に副署し得ないとすれば、（これは一九二二年に作られた主力艦の比例率問題とは無關係である）日本は遠からず決然とワシントン條約を廢棄するであらう。これは日本側では既定の方針である。米國側では終始ワシントン條約の絕對的維持を主張、一九三五年の正式海軍會議のために開かれた初步會議に日本が提出した所の海軍比率を英米と平等ならしめる、要求案に反對してゐる

◇

だが日本人の外交手段の素早さ豐富さには吾人は注意を要する。再考するに東京政府の眞意は何も國際間の一切の條約を廢して自由に强力な艦隊を建造せんとするものではない。ただワシントン條約を廢棄して各國がその防備をなすだけの公平な海軍新約を成立せしめんとするにとどまるものである。倫敦海軍初步會議において日本が要求した平等案は、新たに定める公平な海軍條約は十年を以て期間とし始めの五年は英、米、日三國は尚現行海軍條約の規定によつて進み、後の五年は英米兩國は前進を止め日本海軍は逐年その實力を增加し以て英米と海軍の實力において水平線に立たんとするものであつた。この提案によつて吾人はすなはち知る、日本人の外交政策には自らその特殊な精神が存するのである、日本が敢へて孤立してもその既定方針の目的を達せずにはやまぬところはまこと敬服に値ひする

滿洲國武官
日本見學團赴日

承德地區司令官王永淸中將に率ゐられた滿洲國武官日本見學團一行三十七名は十一日午前十時新京發あじあで張軍政部大臣等の見送裡に大連經由赴日の途に上つた

讀者の聲
（中傷はとらず　氏名住所明記の事）

ホテル客引氏に物申す　西嶓生

たまたま新京驛に奥地行きの友人を見送りに行つた所、某旅館の客引氏の餘りにも不道德な行爲に憮然とした

列車の發着時刻に驛の混雜する事は當然の現象だけど、その混雜中により以上乘車客に迷惑をかけてゐる已れの行爲に平然として、これが當りまへでござる、と言つた橫柄な厚顏さに物も言へなかつた、商賣上誰しも顧客にサービスしたいのは無理のない話だが降る人乘る人の雜沓中の客車內の中央に頑張つて「〇〇サーン」なんて、ダニの樣に座席を獨占してゐるのなんか、言語同斷迷惑千萬だ、特に當地の驛の如き、日滿露は申すまでもなく各國人種衆目中での不道德な行爲は、同胞の吾等ですら憤慨の至りなんだ、まして外人達に如何なる感情を抱かせ、又彼等間に如何なる話題の材料を與へてゐる事か、日本人たれば今後宜しく反省せられたい

ロのイガンダ、ハンデキヤツプにもう一つ言はしてもらうが昨夜三笠町康生醫院附近で火災のあつた際、恰度通り合し滿鐵消防隊各員の自己を忘れての誠實、敏捷なる行動をまのあたり拜見し、目頭の熱くなる思ひで居た所へ前方より滿洲國日人警官が馬車で通りかゝつたが、吾等通行人ですら身をよけて消防隊各員の熟ある活躍に御迷惑にならぬ樣努めてゐるに反し、その防火の綱である引きつめたホースのうちへ堂々馬車を乘り入れるなんて全く見てゐて冷汗のでた次第

人民擁護の職責を有される方の行爲としては全く以つてどうかと思はれます、官服着用でかゝる行爲は、一警官としてでなく滿洲國日人警官の面目にかゝわるではないでせうか、恐れ多くも滿洲國皇帝陛下には吾が日本國体の御研究にいそなわせたもうの由、吾等日本國民として感激つきざるの今日、義人村上氏の叫はれた「日本人こゝにあり」の感念をもつとく有意義にせられん事を切望する次第である

北滿空路の充實
滿洲航空會社で

【奉天發】滿洲航空會社に於ては國內產業の開發工作進展に伴ひ全滿に於ける航空路の充實を圖る爲去る一日より日滿空のダイヤ改正實施と共に全線に亘つて增發したが就中北鐵接收によつて急速度な發展を呈しつゝある北滿方面へは從來月水金三往復を三月十一日より四月末日まで火、木土三往復を增發した所最近旅客の急激なる增加によつて增發の已むなきに迫られるに至り今回更に一往復を追加增發する事となつたが之は北鐵景氣の齎した結果とみられてゐる航空會社では

この狀態で進めば深みゆ春と共に遊覽飛行申込者も相當あるだらうと思ひますし現在の飛行機數臺では十二分にその使命を果す事が出來ないかも知れませんよ

飛行機不足を痛感する程多忙を極めてゐるが如何に空の旅行者が增加し一方全滿に於ける航空路が急速な發展を遂げつゝあるかを如實に物語つてゐる

商況欄（四月十二日後場）

金銀市況

●上海標金
前引 八五八、四〇　八五五、〇〇
後寄 五六、六〇
歩 五五、〇〇

●大連金鈔票
現物 寄付 一三三、〇〇　引 一三三、五〇　出來高 三萬
四月十三日限　四月廿八日限

●大連鈔票銀大洋
現物 二四、五〇　二五、五〇

●奉天國幣對金票
現物 一〇九、七五　一〇九、八〇
▲四月十三日限 寄付 九二四、〇〇　引 九二四、〇〇　出來高 一三萬

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回 買賣 一三三、七五〇〇
第二回 買賣 一三四、〇二五〇
第三回 買賣 一三四、五〇〇〇

▲倫敦向
第一回 買賣 一志六片
第二回 買賣 一志六片
第三回

▲紐育向
第一回 買賣 三八弗
第二回 買賣 三八弗
第三回 買賣

▲大連爲替
▲上海向 一〇〇、七〇〇　一〇〇、七五〇
▲煙台向 一〇〇、五五〇　一〇〇、五〇〇

株式相場

▲阪神日米爲替 第一回 不變
▲阪神日英爲替 第一回 不變
一〇〇、五五五

▲大連株式（短期）
品名：五品、豆新、鈔新、東新、鐘新、日產、滿鐵、二新

▲奉天株式（短期）
品名：滿取、東新、鐘新、日產、大新、五品、豆新、電甲、同乙、滿鐵、二新、東拓、東亞、日興、滿毛、優先

特產市況

●大連大豆
袋込、四月限、五月限、六月限、七月限、八月限
●同豆粕　現物、四月限、五月限、六月限
●同豆油　現物、四月限、五月限、六月限、七月限
●同高粱　現物、四月限、五月限、六月限、七月限、八月限
▲哈爾濱大豆　四月限、五月限
●同小麥　六月限 一、二〇〇〇　一、二九二五
四月限 一、四九五〇
五月限 一、五二二五　一、五二〇〇
六月限 一、五三二五　一、五三二五

新京取引所市況（四月十一日後場）

●大豆
現物（一石値段）
定期（混合百斤値段）　寄　引　出來高
●高粱
現物　休
●鈔票對金票
十三日限　二十八日限
●國幣對鈔票
十三日限　二十八日限

手形交換（十一日）

金票　七三三枚
鈔票　四枚
國幣　一三枚

東満

美濃部博士追撃の決議文を作成
敦化在郷軍人會で近く各方面に送附

【敦化支局發】敦化郷軍春季總會は四月三日擧行、美濃部博士追撃については會長一任の形となつてゐたところいよ〳〵決議の文を作成各方面へ送達することになる模樣である

決議文

法學博士美濃部達吉君の主張する憲法學說は神聖なる我國肇國の大精神に背反し崇高なる我國々民道德と君臣の大義の大源を覆へし且つ萬邦無比の我國体の尊嚴を冒瀆すのみならず『軍人勅諭』に反逆するものにして吾人の斷じて許すべからざる所なり（以下略）

敦化在郷軍人分會
代表　穴澤俊氏

龍井から圖們に
間島貿易系統

【圖們國通】從來間島貿易の主要系統は淸津港を中心とした龍井に於ける取引にあつたが京圖線の完成後、羅津を終端港とする雄基系統の商取引が俄に活況を呈し來り圖們が其の足溜としての役割を擔ひこゝに龍井を中繼地とする淸津系と、圖們を中心とする雄基系との對立競爭を展開するに至つたが、更に圖寧線の登場、京圖、拉濱線の活躍等が織込まれ、今後間島貿易の經濟圏の分野は頗る興味を以て觀測されつゝあるが、今昭和九年度に於ける北滿奧地への兩中繼地たる圖們、龍井の輸出入高を對比すると左の通りである（單位國幣圓）

税關別	輸出	輸入
圖們	一一、九六八、一九〇	一六、七三五、四八一
龍井	一、四二七、九七七	四、四三〇、三三三
計	一三、三九六、一六七	二一、一六五、八一四

税關別	輸出入合計	入超額
圖們	二八、七〇三、六七一	四、七六七、二九一
龍井	五、八五八、三〇九	三、〇〇二、三五六
計	三四、五六一、九八〇	七、七六九、六四七

となり之を百分率とすると輸出は圖們八九、一パーセント龍井が一〇、七パーセント、輸入は圖們七九、九一パーセント龍井が二〇、九パーセント輸出入合計では圖們が八三パーセント、龍井一七パーセントで圖們は斷然優勢である

敦化縣公署で指導官の部署發表

【敦化支局發】敦化縣公署では今同警務指導官の部署を左の如く發表した

主席　押野指導官
司法、保安　山口指導官
特高　田平指導官
警察隊　鈴木指導官
警務　濱本指導官

阿川訓導着任

【敦化支局發】在外指定敦化尋常小學枠訓導阿川昭氏着任新任挨拶のため各方面を歷訪十日本社支局を訪れた

"花まつり"五月八日に延期

【敦化支局發】四月八日擧行の豫定であつた敦化三派（東西兩本願寺及日蓮寺）合同主催の『花まつり』は諸般の事情により來る五月八日盛大に奉行されることに協議決定された

長谷川軍曹の告別式執行

【敦化支局發】南黃泥河子の戰鬪に於て名譽の戰死を遂げた故陸軍步兵軍曹、長谷川勇一君の告別式は十日午後二時から敦化守備隊下士官集會所に於て嚴かに執行された

忠靈塔を建設
永興公司主の美擧

【敦化支局發】敦化永興公司主福原與吉氏は縣下大橋驛後方步兵第四聯隊第五中隊苦戰の地に忠靈塔を建立することを思ひたちこの解氷期をまちて工事に着手するが秋井〇隊長の揮毫になる高さ十四尺のコンクリート建の堂々たるもので、これが動因は事變當時建てられた戰死者の標木が木製のため破損せるもの或るひは匪賊のため燒却せられたものさへありはなはだ遺憾とてゐるしこの擧に出たものでその奇篤な行爲は一般の賞賛をかつてゐる

敦化驛
三月中一日平均乘降人員及貨物

【敦化支局發】敦化驛三月中一日平均乘降人員及貨物收入は左の如くである（一日平均）

乘車人員　五五二人
一、〇五六圓〇〇錢
降車人員　四九三人
發送手小荷物數　三五個
三六圓、〇〇錢
同到着　三七個
貨車收入　三、八四一圓〇〇錢
合計　四、九三三圓〇〇錢

吉林製工藝品の即賣會成功
五月下旬吉林で開催

【吉林發】吉林製工藝品の販路開拓のトツプを切つて堂々國都新京に進出し二十八日より三日間に亘つて中央通り小包檢查所で開催した吉林省立工藝講習所の展覽廉賣會は開會第一日の二十八日家具類全部の賣約濟みといふ一大盛況を示し二日、三日は止むなく豫約注文といふ豫想外の好成績を擧げたので今度は來る五月下旬地元吉林に於て展覽會を開催し愈々內外共に工藝品の大量社會的進出を試みる事となつた

【ハイラル發】接收後のハイラル驛は午後八時と午前三時の旅客列車の外二貨物列車が往復し人員少き現在では全員每日徹宵の苦鬪を續けてゐるがそれでも全努力は酬いられて此程漸く全般的に整備を見日々の運行はもとより逐日能率を擧げてゐる、試みに四日の收入を拾つてみれば旅客運賃五百二十圓九十三錢、貨物運賃四百一圓九十五錢、雜收入廿五圓五十二錢の計九百四十八圓四十錢である、尚每日の乘客人員は現在四十八名平均であり行先はハルビンがその首位を占めてゐる

吉林邦人の驚異的增加
一個月二千人平均

【吉林發】事變前邦人人口僅か七、八百の一寒村吉林村から一躍現在其の十倍餘ともいふべき人口七千の大吉林市となり本年に至つては更に大同洋灰の操業開始、來る八月の新京鐵路局の移轉等により約一萬の人口を包容せんとして居り吉林の前途は希望の明日を約束してゐるが今この放射線狀に膨脹の一路を辿る吉林の發展振りを驛についてみれば來る日も又來る日も驚く列車每に吐き出される降客の數が一日乘客一千八十二人に對して何と降客一千四百十八人に達し實に三百三十六人と言ふ降客超過を示し而も此の驚異的數字が本年一月以來平均數を保持して居ると言ふから全く驚くの外ない

右三百三十六人中、邦人を其の二割と見て一ケ月二千人の增加となるが家屋拂底の驛一日として絕え間なき吉林にどう收容されて行くだらう、滿人で固めた城內も今は殆どすき間なく邦人の散在する處となつて既に家屋と言ふ家屋は超滿員の今日だ、深刻な家屋拂底を來してゐるがこれも健かに伸び行く吉林の姿である

北滿

"こんなに早く拜觀出來るとは"
皇帝陛下御訪日映畫をみて
—張軍司令官感激して語る—

【チチハル國通】九日當地に於て謹寫したる滿洲國皇帝陛下御訪日國通即報ニユース映畫を拜觀せる張第三管區司令官は謹んで語る

滿洲國皇帝陛下御訪日の御模樣をこんなに早く拜觀出來るとは思はなかつた、たゞ〳〵感激のほかはない、殊に皇帝陛下東京驛御着の際畏くも　天皇陛下に於かせられては親しく御出迎へ遊ばされ、各皇族殿下々御紹介遊ばされた歷史的狀景を拜觀した時は思はず感激の淚を禁ずるを得なかつた

舊北鐵沿線へ植樹

【ハルビン國通】北滿特別區公署では來る廿一日の植樹節に當り原濱、濱洲、濱綏各沿線都市に泥柳、楡等數十種約一萬五千本を一齊に植樹する事となつた

松花江解氷
十四日より航行開始

【ハルビン國通】忍び寄る春風に松花江の堅氷も漸く解け初めつゝあつたが十日ですつかり解氷したのでハルビン航業聯合會は愈々來る十四日より船舶の航行を開始するに決定した

"戀は盲目"
大興安嶺山中の情痴繪卷

【チチハル發】大興安嶺の山中で演ぜられた爛れた情痴物語り—鳥取縣青谷町玉川ゑ治（三五）は松崎溫泉舞藝妓稼業をしてゐた京都府生れの小川市野（二三）に惚れ込み一千五百圓で落籍した戀は盲で市野に溺れた玉川は遂に四人の妻子を捨てゝ哈爾濱まで逃げ來り、更に大興安嶺索倫附近で料理屋を開業した、然し金に窮し二人は索倫まで金策に出た時市野は今迄自分のため總てを犧牲にして來た玉川を裏切り、請負師の古館騰藏の許へ走つた、請負師と云ふものゝ古館はやくざ請負師で手鍋さげてもと云ふ事があるがその手鍋さへない有樣であつた二人は乞食同樣の姿で爛れた情痴の生活を續けてゐた、探し求めた玉川は始めて事情を知り三月二十八日、その愛の

櫻花爛漫！
花蓆敷いて
日滿交驩祝賀會
名所鎭江山の賑ひ

【安東發】花の鎭江山で日滿人合同の大花見宴を催し日滿人の融和親睦を圖らうと云ふ計畫は安東地方事務所省公署其他で協議の結果大體實現することに決定したが時恰も滿洲國皇帝陛下御訪日の盛儀を滯りなく終へさせられ御歸國遊ばされる時期に相當するので此の計畫は單なる花見宴とせず皇帝御訪日記念の日滿交驩祝賀會として有意義たらしめることゝなつた、而して開催期日は今の處廿八日の日曜と定められ櫻花爛漫の鎭江山へ在京日滿官民は勿論遠く新京大連奉天方面からも日滿要人の出席を求め各種の催し物を盛大に擧行して日滿親善の實をあげることゝなつた

安東は—
廿九日頃滿開

【安東發】迫る花どきはやる熱情を「安義國境花見大會」開催へ向けて漸く安東關係機關は準備に忙しい、地方事務所、省公署、會議所等主催の下に安義官民を網羅した大花見大會を開催し、安東花見音頭、花に因んだ鴨綠江節、白頭節、都々逸の亂舞は勿論、花街或はカフエー等總動員して花と餘興で、全國境を沸き立たせやうといふのであるそしてそれに日滿親善といふ意義を附加へて朗かに浮き立たうといふのであり滿開期を期して行はれる當日の盛大さが期待されて居る、そしてあてにならない滿開豫想は先づ二十九日頃とされて居るが五月初めに延びるのではないかと見る向きもある

花見列車
ダイヤきまる

【奉天發】花！花！櫻の花の花便りが例年より早いと連日齎されて來る、櫻音頭に併せて假裝の國體が繰込む、酒に浮れた丹下左膳も出れば、夜櫻にランデヴウを極めこむ紳士、藝妓、櫻日本、日本の花櫻の時期はもう直だ、例年の櫻に奉天から…櫻のない奉天から花見の臨時列車が安東に旅大に出る、今年は旅大が一日ばかり安東より早く、二十四五日頃が滿開の便り、奉天驛からは百名の團體が押し掛ける、ダイヤがやつと九日左の如く編成された

◇旅大行（增結列車）
二十七日（土）午後九時奉天發二十八日（日）旅順着
午前九時十五分、午後三時バスにて赴連一泊二十九日（月）午後九時大連發三十日（火）午前八時五十分奉天歸着

◇會費　十二圓（奉天驛申込の事）二十八日朝晝食付、バス代、宿泊料を含む、宿泊旅館に入らざるときは三圓引

◇安東行（臨時花見列車）
二十七日午後十一時四十分發、二十八日午前八時安東着
安東發同午後九時三十分、二十九日午前七時二十分奉天歸着
歸途五龍背に立寄る人は安東午後四時五分發
五龍背午後十時九分發
を先發し

南滿

大連市歌制定
廿周年記念に懸賞募集

本年十月一日を以て市政二十周年記念日を迎へる大連市では目下それぞれ記念事業の準備を進めてゐるがこの機會において記念事業の一つとして「大連市歌」を制定することに決定、十二日午後二時から協會議を開催することになつた東京、大阪の大都市をはじめ內地の各都市ではそれ〴〵に其都市を表徵し、其都市の發展を祈願する意味の市歌が制定され記念日その他の催し每に高唱してゐるが大連市にはまだ市民がその制定を見ず遺憾とされてゐるので二十周年を機會に新制せんとするもので大滿洲國の表玄關大大連を謳歌するに相應しい歌詞を一般市民より懸賞募集せんとするにあり十二日の協議會には園山、村岡、高津、石森（民政署視學）石田（商議會頭）山口（彌生高女）橋本（圖書館）加藤（滿鐵々道部）能登（同弘報係）今永（教科書編輯部）等の諸氏が出席する筈である

大連の人絹取引
十五日から開始

【大連發】大連人造絹糸同業組合の設立に就ては過般來屢々委員會を開催して準備中であつたが此程取引規定及び組合規約の最後的決定を見るに至り在連有力當業者全員の贊成を得たので十二日設立總會を開催し役員その他を正式決定の上愈々十五日より取引開始を行ふ事となつた（而して同組合取引の實績如何は五品取引所上場物件許可に對する當局決斷を決定するもので成行を注目されてゐるが、當業者間では近來の大連に於ける人絹糸取引の實狀より推して充分の成績を擧げるものと樂觀してをり、特に絕對的需要先たる北支及び南支の人絹織物工場の消費に對する輸出は內地より直送に依るよりは一度入連港に陸揚げし自由港の特性を利用するの有利な點は既に大阪駐在の華商間でも知悉され將來東洋の人絹糸取引の重要な地點となるは必然であり、更に之れを契機として現在殆ど空名のまゝ取引物件外に置かれてゐる麥粉取引の市場集中にも刺戟を與へ全般的な市場振興にも寄與するものがあるとの見地から多大の期待をかけられてゐる

シーズン來る

春の演藝陣

早川雪洲 愈よ十六日より記念公會堂で

日本の生んだ世界的名優早川雪洲の一座は壓倒的好評裡に沿線各地の公演を終へて愈よ來る十六日より三日間記念公會堂に於いて蓋を開けることになつた、上演脚本はオスチンストロングの「第七天國」中野實の「女優と詩人」メウィット、ベラスコの「天晴れウオング」等で何れも雪洲一座の當り狂言である、一行は雪洲の外に藤田東洋、久保春二、三田照子等總員百餘名に亘り、照明班、裝置班等すべてを引具し、背景に致るまで用意して、內地その儘の豪華舞ひを現出しやうとするもので地方公演としては實に劃期的な試みである、よき劇團の公演に惠まれぬ新京好劇ファンにとつては確に隨喜もので早くも前人氣々煽つてゐる(寫眞は早川雪洲)

人形芝居 十三日より公會堂にて

淨瑠璃黨より待望せられてゐる大阪娘文樂人形芝居一行は新聲會主催花柳界各方面の後援を以て、來る十三日より三日間記念公會堂に於て華々しく公演する事となつた、一行は吉田光子以下國寶古典藝術文樂若手連の粒選で久方振りの淨瑠璃芝居とて期待せられてゐる

今日の銀幕街

▼帝都キネマ—シャシキープラの「今宵こそは」、高津慶子の「春雪白日夢」霧立のぼるの「釣鐘草」
▼記念公會堂—太陽劇團「國の光人の妻」「船唄雀念佛」
▼長春座—藤井貢の「東京の英雄」、高田浩吉の「
▼新京キネマ—ドロテア、ウイークの「制服の處女」里見藤郎、伍東宏郎の大染物語

「建築講座」 主婦と住宅 (八)

滿洲中央銀行 山崎忠夫

佳ひ勝手(一)

主婦達の感歎のさめぬ內に內部の佳ひ勝手を說明致します皆さんの御批判を願ひたい、この居間を佳ひ勝手を

說明 します、何故こんな廣い居間が間取れたか先述の不必要な廊下を集てお部屋を作りました

◇ ◇

佳ひ勝手どしては主婦室、居間、應接、食堂、書齋、溫室子供室を兼用します、これで如何に利用價値が發揮せられてゐることがお解りでせう一日家庭で御仕事をする主婦には理想的なお部屋なんです日光はよく入るし、建康にも大變よくこゝで、メロデーに合して社交ダンスのステップも踏めるし、惡友の東京音頭の「ハア踊り踊るなら」と十人十五人は大丈夫ですよ。

人間でも融通のきかね人は大成しないそんな御主人でしたら從前の平面圖と等しく今の內に別れた方が良いです

特に一家に於て主婦の周圍の環境に依つて融通のきかね家庭ほど不幸なものはありません來客の性質年齡趣味に依つてその來客に接して行かなくてはいけません

赤ん坊に向へば赤坊の相手であり、幼兒と「ハトポッポ」を歌ひ、主人に向へば少女の如く變轉自在な融通性をもつ主婦こそ完全な德育ある主婦であり女性である

學窓を出て間もない若奧樣の所へ友達が寄り附かないことはそれである

然しそうした性質の延長はやがて現代社會から爪彈きにされて行く主婦である

その融通性こそ住宅に大切なことである

從來の住宅にその自由な融通性のないために、も早や將來人々から爪彈きを喰ふであろうことは疑ふ餘地はない

◇ ◇

胃袋を見て下さい、消化機關の廣汎な融通性をもつてゐます、大きい畏驚ゝ驚巣を感じます、嚙まれたると嚙まれざる、腹一杯と八分目、熱い冷い、生と料理、動植鑛なんでも胃袋へ入つて行き、忠實な胃袋は細胞の化學力に依つてそれを肉体と精力へ變へて終ふ、其融通性こそ現代の主婦へ建築へ望むものである、住宅への融通性はこの居間である丁度お鼻がお顏のまん中で

おへそがお腹のまん中にあるように、物に中心のないものはない、國家にも一つの中心があり、物体にも中心がありなれば住宅にも中心がなくてはいけない言ひ換へればしまり即ち統一がなくてはいけない、日本の軍隊の強きはそれであり、支那軍隊の弱いのはそれがないためである

滿洲が支那の領土であつたためか滿洲住宅にどう考へてもそれがなかつた

滿洲國の獨立となり、日本の助力に依つて一本立ちになつた滿洲である、家庭も住宅もいつ迄でも中心なく不統一なものであつてはいけない。その中心が居間である

この家全体の中心であり、統一であるそして完全な廊下の役目も果すそこに家庭生活の能率問題が解決され主婦へ對しての貢獻がある

朗らか小父さん

新ラシイ着物ヲ泥ダラケニシチャッタ
コレワ好イ場所ダ、嬢チャンハ、イツ來タンダネ?
朝カラ
小父サンモ明日釣リニ來ヨウ、サカナガヨク食フカネ
チットモ
ダケド家ヘ帰レバ食フワ、オ小言ヲヨ!

© 1935, by King Features Syndicate, Inc.

今日の献立

朝 △味噌汁 ‖今朝は豆腐にしませ

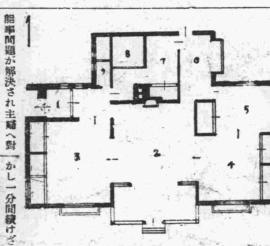
晝 △八つ頭の含め煮 ‖八つ頭は大き目に切つて鹽揉みをし、ぬめりを除つて、煮出汁を被るくらゐと醬油を吸加減より少し鹹目に入れて、徐ろに煮込み途中で砂糖と味りんを少々加へ、更に醬油を少々落して、芋に一つ二つ罅目のつくまで煮含めます。

晚 △蛤と野菜のカレー煮 ‖蛤は、砂をよく吐かせ(水に金氣物を入れるとよく砂を吐く)人參、馬鈴薯玉葱などの野菜をそれぞれ切つておきます、鍋にバタを大匙一杯熔し、まづ玉葱をいため、次にカレー粉小匙山盛一杯とメリケン粉大匙二杯を入れていため、水五合ほどで薄目にのばし、カレーソースを作つて、そこへ人參と馬鈴薯を入れ、軟かに煮上げて蛤を入れます。蛤の口が開いたら、鹽と胡椒で味をつけ、靑豆があつたら少々入れ、すぐ火をとめます

兵器物語

—N、K、S—

△砲煙彈雨——大砲と彈丸の話

今日の野砲の發射速度は一分間に十六發ぐらいである、しかし一分間續けざまに十六發も發射することは滅多にない

それは旣に殺した人間に或は破壞した物體に向つて更に彈丸を發射する事になり全く無駄なことであるからだ、そこで自分の方から擊つた彈丸を一發々々觀測してその結果を見た上で次の彈丸を擊つのが砲兵射擊の通則である、もう一つは、さう續けざまに澤山の彈丸を發射すると、火藥瓦斯熱のために砲身が損傷して役に立たなくなつてしまふからである斯如き理由から精々一分間に七八發位が關の山と見てよからう、それにも拘らず一戰役間砲兵の擊つた彈丸は實に莫大な數に上るのである、日露戰爭では日本軍は百四萬發露軍は百五十萬發の砲彈を滿洲の原野にぶつぱなしてゐる

歐洲大戰ではモットモット多い、佛軍は三億四千發、英軍は三億萬發、獨軍は五億八千萬發、伊太軍は四千七百萬發米軍は八百五十萬發を消費している、彼のベルダン戰では佛軍は六百萬發を擊つているから、平均一日に三十萬發射している、同じくベルダン戰で獨軍は二週間の間に十二萬噸の砲彈を使用した

次に大砲は何發位發射したら役に立たなくなるであらうかを調べて見るに勿論それは大砲の金質、使用火藥の種類、連續發射の時間と彈數等によつて差異はあるが、口徑が大きい程命數が短い事は一般に通ずる事實である、口徑七糎半位の野砲では一萬八千發も擊てば大概使へなくなる、口徑十五糎級だと一萬發ぐらい二十糎級になると一千發位もつと大口徑の大砲になると數十發で駄目になるものもある

そこで、今一個の大砲が、役に立たなくなるまで其の大砲で發射する彈丸の總價格と其の大砲の製作費との割合を見るに彈丸の消費價格の方が遙かに多く通常大砲の製作費の十五倍乃至二十倍である、それでは重量の比はどうかといふに、消費彈丸の總重量は其の大砲の重量の百倍乃至三百倍であるといはれてゐる

大砲の製作費は時代の進展と共に勿論一樣ではないが、最近一門の製作にどれ位かゝるかを調べて見ると新式野砲が約二萬圓、高射砲が二萬五千圓、曲射步兵砲が二千圓で彈丸の價格は一發平均五六十圓の割合である

學藝欄

現代世界史觀の一節

田所廣泰

政治史に對して文化史が唱導されたとい小史學發展史上の條件に支配されて、今なほ諸戰爭の全文化史上の位置に對する正しき綜合的研究が行はれてをらぬことは、現代史學の一大缺陥ではあるまいか、殊に、現代戰の形式が、所謂擧國一致、國家總動員、國防國策の確立、經濟戰、思想戰、國民生活の統制、それらの名に於いて、異常の發展を示しつゝあるのが今日の世界史の事實である、史家も共に國防戰に來與すべきことを忘れてはならぬ、例へば、日露戰爭が、西歐機械文明の攝取によつてその文明の本國と最初に日本が戰つて勝つた戰爭である、而もそこに明治維新が完成せらるゝ契機が見出されたといふことは、西歐文化の批判といふ問題が『戰爭』といふ形式によつて、初めて實現せられたといふことであつて

それは、聖徳太子の文化創業とことなり、その理想實現の時機として、そこに差違の見出さるべきことをおもふべきである、日露戰爭によつてその十年後に誘發された世界大戰は『西歐の沒落』の現實的實證であつたが、それは西歐自身の無條件自己沒落でもなく、東洋の覺醒による西歐の沒落でもなく、日本文化の開展による東洋の覺醒と西歐の沒落であつて、この條件の下にこれ等の影響は同時的生起といふべきであり、日本文化は世界史の全面的動轉に直接關係せしめらるゝ、西歐に於いて精神科學はやうやく世界大戰を契機として發達したのであるけれども、日本に於いては、それは自然科學に先んじてをつたから、西歐文化を統御し得たのである、しかしながら『東洋』精神には、精神科學はない、近來自然科學と精神科學の研究對象と研究方法上に於ける差違は次第に近接せしめられてをる、それ故にもし德川氏が鎖國をしてゐなかつたとしたならば、自然科學の發達は精神科學のそれと日本に於いて併行せしめられてをつたであらうから、して、德川氏の世界學術進步の上に投じたる一大障害がなかつたならばこの點よりするも、日露戰爭はおこる要なくしたがつて世界大戰は無論その生起を豫想することも不要であつたであらう、鎖國の重大罪過については、筆者は今一度觸れようと思つてをる、過去をかへりみることは未來に備へむが爲めである

自然科學の發達を大ザッパにニュートンの主著『プリンシピア』發行の年を以て記念するならば、その一六八六年は精神科學研究の目的と方法を確立した山鹿素行歿年の翌年に當る又いふところの重力の原則發見の年は素行歿後の翌年一六八七年である、唯物論者トーマス、ホッブスが出たのが一五八八—一六七九であつて、其後自然科學の發達が唯物論の跳梁を支援しようとしたのは自然精神を問はず、科學的研究の行はれざりしに基因する、しかし現代西歐文化沒落途上の二遺學、アメリカに代表せらるデモクラシー赤露にのみ跡をとゞめたマルキシズムは、その標榜すると否とにかゝはらず、マテリアリズムであつて、この二つが政治的にも沒落しつゝあるは覆はれぬ事實である

自然科學はいま『物といふ觀念』世界に停滯も得ぬところに精神科學ゝの境界を僅少ならしめつゝ進步しつゝあるのである、この『物』を偏重するところの西歐文化は、その文化圈內に於いて沒落が叫ばれてゐるが、米、露をそれぞれ海軍と陸軍との決定的選敵目標として國防をかためつゝ兵火の如何にかゝはらず事實上戰ひつゝあるところの日本の運命をおもふべきである

戰爭が『物』に對する恐怖から起るとするならば恐怖の一症狀としての觀念論としての唯物論、またその影響である故の自然科學偏重精神科學的研究に對する自然科學研究方法の强制適用これらのものをその迷信的固執から解脫せしむべきであつて、その爲には戰爭もまた避くべからざるに至るかも知れぬ、戰爭は極度の自然科學力に俟つべきであるが、その運用は精神、全文化把持の精神に由る

日本は、世界文化の將來のために如何なる戰を、戰ふべきか

滿洲事變以後に表はれた、日本貿易の進出が手內職、手工業に基礎をおき鳥海、鳳翔の造船が祖國防護の忠誠に依據を見出すことは、日本の將來に對する神意を暗示する

しかし乍ら、日露戰爭が御集によつて戰はれだことを忘れてはならぬ、現代世界史の一切の研究は『明治天皇御集』に集中せしめらるべきである

爆擊機

改造四月號所載の戲曲『歲月』—岸田國士作—は近來の讀みごたへのある戲曲として推賞したい

正宗白鳥の稍神經質的なシニカル性に對し、此はもつと唯物的な新らしい時代性に於けるシニカルさに於て、迫るものがある

××

十七年の歲月の間に於けるある老官吏の家庭を舞台にした三場ものであるが所謂岸田的な雰圍氣の中の人物が、機警な人生觀とユーモラスな會話で所謂小市民の悲劇を、喜劇的に運んでゐる、それだけに讀むものゝ胸に迫る悲痛さに溢れ、思はず「こんな戲曲を上場する資本家があらうか」などとも考へさせられた快作と言はふ（由良武己）

小說十八篇（若草四月號）

—群家陸夫—

▲セミラミス女王（中河與一）—與一兵衞式の話術、一種の趣味、一種の童話さ

▲山頂の湖面（芹澤光治良）—三行づゝ飛ばして讀んだ、芹澤と言ふ作家も色々に生きてゐるものだと

▲紅子（丹羽文雄）—七つの少女紅子、共榮第二ビル子はこんな子の本能にまで、羅のような春を忍び込ませようと言ふのか一寸、氣持の惡い、ニャケ男の笑情によう な作品

▲生きる（島木健作）—若草的な刑務所物語、島木健作も器用な男

▲猿使ひ（藏原伸二郎）—甘肅省の猿が北京へ出て美女青々のエロに狂ふ話チンマリしたコント

▲少年（龍膽寺雄）—放浪時代の作者の放浪少年物語、それだけ板についてゐるが、初期の舊作品と見えて進步の跡なし

▲彼女の金策（美川きよ）—令女界的小說、娘の思想と言ふものは、何時までで星とすみれの物語ばかりであらうか？

▲不可解のこと（石濱金作）—石濱式の不敵さと、頽廢主義相當に讀めます

▲男の聞（伊藤整）—奴隷の愛、肉慾の功利說、時代性だけの新らしさ

▲夜更の驛（榊山潤）—期待してゐる作家の一人だが調子を下げて狂つたのかどうもダラシがない、小品文と小說の混血兒みたいで中途で讀まず

▲卯の花くたし（田村泰次郎）—明治的感傷歌、ストイック派の戀愛、カインの末エイの又末エイ

▲金魚（大木惇夫）—甘すぎるかも知れぬが殉情詩人の小說であれば、たゞ美しきものゝ溺むはよけれ

▲美しき竪琴（阪本越郎）—これも詩人の小說、纖細澄明、蒼白き氷河、描寫も美しい

▲破片（丸岡明）—女二人の圖、三田派の新進にしては不出來すぎる

▲丘の上の物語（庄野誠一）—面白いテーマ、描寫も上等だが桑の實を喰つて出て來た田舍娘が一夜でコケットに化するなんて唐突すぎて閉口

▲旅行者（宇野千代）—いろざんげの一片、年增女の說白はネバッコクてイヤラシイばかりさ

▲レイ羊の御（平野卓）—次の「破片」は第一回特別懸賞の二等當選作、これはモダン、プロ小說、華やかなレビューの如きプロ鬪士、女に惚れたり、沒落の如きものをしたり、憂鬱派になつたり、大したものである

▲破片（赤木耕之介）—貧しいロマンチストと虐げられた女の物語、眞率な態度が買へよう

凡そ滿洲にも若草を文藝雜誌だと思つて讀んでゐる人々があるかも知れない、だが二、三年前のある短期間はいざ知らず新青年とかモダン日本とか若草とかは、謂はば喫茶店みたいな存在である（カフエーやバーを講談クラブ、キング、オール讀物だとすれば）甘いブルースレコードでもきいて、コオヒイでも喫むつもりで讀めば肩が凝らなくていい、その代り小說などと言つて十八篇並べても頭のパンになる樣なのは見つかるのが不思議の位の存在である

チト、食傷の程度で此の稿を止める

旅行便り（四）

新京商業學校

京都から

—第四信—

列車の輕いリヅムにふと目が覺めると「京都だ！」—「京都だ！早く起きないか？」—友達の聲なのだ目をこすりながら見ると、もう京都の町はずれを汽車は走つてゐた、寢過ぎてしまつたのである、—夕べ遲くまで眠らなかつたからであらう「京都！」それは內地修學旅行の、始めに指折る處の一つなのだ、殘念にも今日は、昨日より降り續いた雨がまだやまない

汽車は元氣好く〳〵プラットホームに滑り入つた　僕等六十三名をはじき出した、整列して旅館に行く、旅館は驛のすぐ前に在つた

朝食は同じく驛前のハト屋なのだが腹がへつてゐたせいか大變美味しかつた、朝食がすんですぐバスで京都各名所を見るのである

バスは先づ旅館前を出發點として、伏見稻荷社に到着、バスより下車してしばらく步く

此處は官幣大社で全國お稻荷樣の總元締で五穀豐穰、商賣繁昌の神樣である、後の山には各信者から奉納された鳥居が數かぎりとなく有る、はつきりと數へた者がないが、約四、五千本くらゐあるだらうと云はれてゐる、それで此れを誤りなく數へ上げた者は、頭が好くなるとの事である、—僕も一つ數へて見やうか？と思つたが、時間が無かつたのでやめた—

其の次は桃山御陵である、桃山御陵とは文祿三年秀吉公の築いた伏見桃山城本丸の跡にお祀りする明治天皇の御陵と照憲皇太后の御陵を併せ呼び奉るのである

先づ明治天皇を、お祀りする御陵を參拜する

—我等の最も慕ひ奉る、明治天皇が、永しへに、安らかに御眠りましませる處なのだ—

うや〳〵しく最敬禮をする

御陵の後には、松の木が鬱蒼として繁り、永しへに明治天皇を、お守り申してゐるかの如く見える、後東陵即ち照憲皇太后の御陵を參拜する、皆處に於ても前と同じ氣持にうたれる

次は乃木神社である

—乃木將軍の家、乃木さんの少さい時に、勉强しながら餌いた臼、などを見て、大變感激させられた—

此の次は三十三間堂、此の一間は通常の二間になつてゐるので、六十六間ある譯である

傳說にある、三十三間堂の話しなどと、照らし考へると面白い、次は淸水寺で、此の寺は坂上田村麿の建立した物で本堂は有名な淸水の舞台の上に、建てられたものであつて優美絶讃の所、又此の下には一面に楓や櫻の樹が生えてゐるので、春は櫻の名所、秋は紅葉の名所である

そこの音羽の瀧を參拜して後山門で寫眞を寫す

又此處には赤や白の椿の花が大變美しく咲いてゐた—赤の椿、白の椿を見ると、あの「椿姬」を思ひ出す—

八坂神社、圓山公園、知恩院を見學して、一同知恩院で中食を取る

午後一時まで圓山公園で散步する祇園の夜櫻を見る

午後の一番始めは南禪寺である、有名なインクラインを右にながめて、しばし行くと南禪寺なのである次は平安神宮即ち桓武天皇を祀り奉る官幣大社である

正面から此正殿を見ると—月並なことをくりかへすが—さながら一羽の鶴の舞かとあやぶまれる

次は銀閣寺で足利八代將軍義政公が戰國の喧騷を外にして風流を好み此れを建てゝ享樂をことゝした處である

當代の第一人者、相阿彌の作つた林泉もあつて、一名奇石の庭と稱す

—此れは支那の西湖を眞似て作つたと云はれてゐる—其の次は御所であつて、現在の御建物は安政二年に再築されたもので安政の皇居と申し奉るのである。

皇居は御苑の中央北に南面し其の東南に大宮御所仙洞御所がある。次は金閣寺北山の山麓に位し、臨濟禪宗別格本山鹿苑寺と云ひ、金閣寺は俗稱なのである。

足利三代將軍義滿公の隱居所として作られたのを、遺言によつて寺としたものである。

次は北野神社で官幣中社菅原道眞公を祀主とするものである。神苑は北野の梅林で春には梅の香か高く馨ると云ふ。

今はすでに散つてゐたが、まだ所々に三四輪名殘を見せてゐる—梅の花は生れて始めて見たのである—

なほ此の神社には午が祭つてある。と云ふのは、道眞公は午の年の午の月の午の日にお生れになり又流されになられたのも午の日であつて、大變午に緣があるので後の人が午を奉納するのださうだ。

此處の北野より嵐山まで電車で行く、三十分ばかりで嵐山に着く渡月橋より嵐山をながめると、あの、いつも見る嵐山の寫眞と少しも、違ふ所がないのだ—あたりまへだ—と云ふかも知れないが。

金閣寺や銀閣寺などは、寫眞などとは、大變異つて失望させられた—三十分休憩して又電車で北野まで來る。

バスで東本願寺まで行く、參拜して、今日の豫定はすんでしまつた譯である。旅館までバスで送りとゞけてもらふ。

夕飯後七時より十時まで自由散步なのだ！

僕等にとつて、それは一番たのしいものである。（平山陽郎）

新刊

◇キング（五月號）

◇キング五月號に三上參次博士が「碁將棋の教訓」の一文を寄せてゐる。その中に—〈飛車角金銀桂夫々に怪力を有つ、所謂器である、然るに王將はそれ程怪力はないが、しかも總帥として悠然それらの器を統制し、全體として渾然たる妙味を發揮してゆく、即ち君子である、キングも別に專門はないが、あらゆる方面に網羅し、全體として渾然たる大衆雜誌の面目を發揮せんことこそ—といつてゐる

◇キングのこの特味は、最近非常に濃厚に、且つ鮮明になつて來たやうだ

◇五月號を取上げて見ても創作には、十數篇何れも他の雜誌に遜色のない尤物が揃つてゐる、新讀物だけでも中村武羅夫の「一女よなぜ泣くか」其他の傑作があり評判の讀切傑作選も實篤、六朗（淺原）山本周五郎等の新著顔を巧に取交ぜてゐる

◇中間物でもやはり群を拔いてゐることは同斷である、「珍品名寶日本一づくし」「忍術修行の体驗」「頭山滿氏、出口王仁三郎氏縱橫談」「小資本商賣開店繁昌實話案內」などをはじめ頗る多彩多岐である。

◇結局日本人としての常識中堅國民の健實思想、穩健中正なる娛樂慰安、そんなものを至極豐富に、他に後れを取らず、圓滿に培つておかうといふ意識の下には、どうしても一冊は、といふことになりさうな雜誌だといふに歸着する。

痛みし目よ！明朗珠玉の光に還れ！

貴下の眼病は？

病名は？ 手當は？

(切抜いて置けば御參考になりませう)

■結膜充血（白眼の充血）

眼瞼の裏や白眼、殊に目尻が充血して赤くなり目脂が少し出る、灼くやうな刺すやうな或はホコリが這入つたやうな痛みを感じ、強い光線を見ると目を開けてゐられない、原因は多く塵埃、煤煙、强風、暗い場所での作業、過勞、亂視、遠視等、療法は目と體を安靜に、洗眼、點眼、冷罨法

■加答兒性結膜炎（はやり目・やに目）

三四月頃と九十月頃に流行る、始め白眼がゆく次で埃が這入つたやうに感じ目脂が澤山出る、白眼一面赤くなり光りがまぶしく、電球の廻りに光の輪が見える、原因は大抵、細菌の傳染或は塵埃、外傷、熱病、ガス、煤煙目の過勞等、療法は洗眼、點眼、冷罨法―慢性は急性より輕い代りに長引く故、治療に根氣が肝要

■水泡性結膜炎（目ぼし・目がさ）

白眼の上に粟つぶ狀が幾つも出來てまぶしく涙が出、また痛むこともある、外出嫌ひの腺病質の小兒に多い、原因は結核と關係があると云はれてゐる、治つても再發し易い、療法は何より體の榮養と强健法、洗眼、點眼、微溫罨法

■トラホーム

始めの症狀ははやり目、やに目とよく似てゐるが眼瞼の裏にツブ〳〵が澤山出來てゐれば**トラホーム**である、傳染は目脂より。治療が早期なら全快も早いが少し怠るとどこまでも惡化する、治療を中途で打切ると忽ち元へ戻る故、根氣第一、療法は洗眼、點眼、冷罨法なほ何よりも公德心を持ちたいことは他人への傳染を喰止めるために使用タオル其他器物の限定と消毒の事

■眼瞼緣炎（たゞれ目）

眼瞼の皮膚、殊に目尻が赤くたゞれてとても痒い、原因は細菌の寄生、療法は洗眼、點眼、冷罨法、再發し易い故全治後も暫く治療を續けること

■麥粒腫（ものもらひ・めばちこ）

始め眼瞼が少し痒く、次で痛み、赤く腫れ上つて化膿する、體質虛弱の人に多く屢々起る故、體の强壯を心がける事、痒い位のうちに冷罨法をやればそのまゝ治るが腫れ上つたら溫罨法にて早く化膿さして膿が出たら冷罨法に代へる、同時に洗眼、點眼

■正しい治療法と養生法

病眼は、先づ洗眼薬で目を洗ひ目脂を除き消毒してから目薬を點すのが現代眼科醫學上最も進歩した最も速かな治療法でありますから、必ず之を日に二三回行ふのは勿論、酒、辛いもの、脂濃いものや酸い食べ物を避け、細かい手仕事、讀み書きもなるべく止して、夜は早目に寢ること が治療を速める養生法であります

■硼酸に優る大學洗眼薬

大學洗眼薬は最新殺菌藥**ノイボルミチン**を主藥とし、强力な消毒力があるばかりでなく、自ら治療力をも持ち、目薬がよく効くやうに目を整へる大きな働きをします、大學獨特の創製品で、**大學目薬**一瓶毎に添附してあります

■大學は權威ある眼科藥

大學は眼科醫學の權威五博士がその處方に參畫せられた治療力の優れて强い目薬であり、專賣特許製劑、**ウルビオレギン**の配劑により殺菌、防腐、收斂の效があり、一劑にてよく眼病を癒すのみでなく、目を强く美しくし、紫外線の害を防ぐ三作用があります

■洗眼の仕方

大學洗眼薬一錠をコップ半分の熱湯（約一合の三分の一）にとかし、生ぬるくさましてガーゼか脱脂綿で目の内外を輕く洗ひます、但し目の玉をこすつては不可ませぬ、目を拭く布はその度に裏返し或は洗濯、取替の必要があり、特に傳染性の眼病者は他の人にうつさぬ注意が肝要です

■罨法の仕方

罨法は病狀により左のいづれかを行ひます、冷罨法は冷たい**大學洗眼薬**を**ガーゼ**に浸し、つぶつた眼瞼の上に繰返し當てます、溫罨法は溫かい程度の**大學洗眼薬**を薄火にかけて冷めないやうにし眼瞼に當てます、いづれも一回十五分か三十分一日三四回

正しい治療法
一回一錠に熱湯を半分
さまして輕く洗ふ
その後で大學目薬二滴！

大學目薬 藥價	
人造べつこうケース付	
一瓶入	30錢
二瓶入（ケースは一個）	50錢
補充用特大瓶付（ケースは一個）	1圓
ケースなし	
小瓶	20錢
大瓶	30錢
德用	50錢
小兒用	20錢

一瓶毎に「大學洗眼藥」の添付あり
「大學洗眼藥」は別に賣品も有り
十錠 十錢
廿一錠 廿錢

新時代の目薬はケース付

（滿洲名―特製大學眼藥）

大阪北濱
參天堂株式會社

鐵路總局 消費組合の噂に 日滿商業團体の驚駭

十四日奉天で對策を協議 全滿に反對運動を起さん

滿洲國官吏消費組合の設立によつて全滿商人の神經を焦だゝせてゐる矢先、またく〳〵暑北鐵全沿線に亘る鐵路總局の消費組合設立計畫が傳へられ商店經營者の神經をいやが上にも尖らせ、これが全滿的反對運動を起さんとしてゐる——滿洲日滿商業團体聯合會では十四日午後一時から奉天商工會議所において臨時聯合總會を開催しこれが對策を協議鐵路總局に對し消費組合設立阻止の嘆願陳情をすることゝなつた、出席者は各地商店協會の代表者二十四、五名で、新京からは聯合會から會長代理として吉田廣盛氏、稻垣書記長、商店協會から山下要八、福田右一、田村英雄、松田益次郎の四氏が出席することになり吉田、稻垣兩氏は十三日山下氏等は十四日朝ひかりで出發するはずである、なほこれに先だつて第一に設立計畫の進められてゐるハルビンにおいては同地商工會議所、その他の商工團体より再三に亘つて設立中止方の陳情を行つたが、當局では、設立の理由は物價の高い安いとか、サービスの善惡等にあるのではなく、特に奥地には物資が缺乏してゐるのでこれら奥地從業員に物資の配給を圓滑にするためであるとして計畫を進めてゐる模樣であるが今回の嘆願の結果その回答如何によつては全滿各地に市民大會を開き全面的に反對運動の烽火を擧げるものとみられてゐる

國通のコート開き

民政部前に在る滿洲國通信社では豫て後庭にテニスコートを築造中であつたがこの程完成したので十二日午後一時から華々しくコート開きを行ふので關係方面に檄を飛ばし參會を求めてゐるが國通本社だけ十組近くの優秀な選手があり、聯合、電通其他から既に申込みがあり當日の盛況が豫想される

分會、櫻親分會、鐵北分會の三分會は來る十七日午後一時から公會堂階上會議室で第一回總會を開催する

鐵道建設分所 事務所に昇格

新所長は高山技師

滿鐵々道業務の輻輳により現在市内和泉町の滿鐵建設局新京分所が新京鐵道建設事務所に昇格されることになつてゐたところ、いよ〳〵四月十日附を以て發表され、なほ初代事務所長として分所長技師高山安吉氏が同日附を以て任命された

警察を騷がす 醉つぱらい 誣告罪で告發

本籍長野縣下伊那郡富草村大字栗野不詳當地現住所市内日本橋通六十八番地原上榮茂（三十八）は十一日午前二時三十分頃東二條派出所へあはたゞしく駈け込んで來て「只今曙町二丁目十四番地おでん屋兩國こと佐藤龜方で飲酒中本籍住所氏名不詳の男がこの海軍ナイフを振つて自分を脅迫した」と刄渡り二寸位の海軍ナイフを證據物件として屆け出たので派出所では屆け人の身元を調べると「名前をいふ必要はない」といろ〳〵暴言を吐いて立ち去り更に午前三時頃本署へ電話で『俺は今兩國おでん屋で脅迫されたので東二條の派出所へ屆け出たが取りあつてくれぬ」と言つてきたので當直の中谷刑事が早速現場に到り調査して見ると全然事實なく且つ原上は派出所から歸る途中曙町二十七番地森川支店の大八車と今一つの大八車を道路上に引出し交通妨害をなした事實もあり中谷刑事は原上を誣告罪被疑者として告發し目下取調べを進めてゐる因に原上は滿洲國某官廳に勤めながら傍ら妻の名儀で下宿屋を經營してゐる

春らしく 馭者の衣換へ 馬車の洗滌は 昨日から實施

昨年十一月から結氷の爲め休止中の首都乘用馬車組合の乘用馬車洗滌場は正月末から擴張工事中のところ完成したので十一日から洗滌を開始したが、一回に廿一台の車が一時に洗へるから一日五百台から六百台位洗ふ事が出來るので現在營業中の約二千七百台の馬車も五六日中には全部きれいになるだらう又馭者の衣類も大分見苦しいのがあるも毛皮外套を脱ぐ様になつたら外套式のものと着替へさせる積りで目下製作中だし、尚組合員たる馭者車夫專用の浴場も土地が手に入れば早速建築に着手して本年中は是非共實現したい意向である

商店協會でも 具体策協議

けふ常任幹事會

新京商店協會では十二日午後一時から記念公會堂第三談話室で常任幹事會を開き十四日奉天商工會議所で開かれる鐵路總局の消費組合設立反對運動に關する聯合會臨時總會に臨む具体的對策を協議する

國婦三分會 第一回總會

國防婦人會新京支部日本橋

滿人街に聽く（六）

日本品九十八%…… 雜閙する百貨店

滿人には恰好の遊歩區域

先日は大道の百貨商店を紹介したが、今回は本物のデパートを訪ふことにした 大馬路と四馬路とが交る角に泰發合百貨店が立つてゐる、擴聲器をつけて蓄音器ががなつてゐる入り口を滿洲國の大衆諸君とともに中にはいる、經理（支配人）に會ひたい旨を通じたが只今不在とのこと、仕つて淨服を着た營業部の人に話して貰ふ

問 お店は何時出來たのですか？

答 つひ去年の十二月二十三日に開業しました

問 一日の賣上げ如何？

答 千圓から千五百の間です——記者はこれは大したもんだと頭の中で計算して見る、千二百圓として四十四萬圓か!!

問 商品は何處から來ます？

答 九十八パーセントは日本品です、支那の品はほんとに少々です、大阪に常置員を置いて三十軒餘の製造業者、卸商と取引してゐます

問 店員はどの位、男ばかりですか？

答 今百二十八ほどゐます、まだ滿洲女店員はゐません、滿洲がそこまで進んでゐないのです

問 經營者は？

答 益發銀行です

問 三階は色んな店に分れてゐるやうですね

答 そうです、三階は十何軒かに場所だけを貸してゐるので直接關係はありません

大体要領を得たので記者はぐるりと一巡、わがメードインジアパン商品のオンパレードを參觀した、梅村蓉子のやうな顔をした若い斷髪の女性がスモカを國幣十六錢で買つて行つた、が何にも買ひそうもない滿人大衆諸君が實におびたゞしくうろ〳〵してゐる、これは彼等に特有な例の「ウメ」"ウメ"なのである、デパートメント、ストア、それも彼等にとつては新らしい遊歩地域なのである

司法部廳舍 地鎭祭

司法部廳舍の地鎭祭は十一日午後三時より順天大街官衙地に於て擧行されたが同廳舍は

一、敷地坪數　[illegible]坪
一、建坪　[illegible]坪
一、總延坪　[illegible]坪

にして三階建中央部は六階建の堂々たるもの様式は滿洲式鐵筋コンクリート造である、工事は上木組にて請負總工費二〇、〇〇〇圓四月初旬起工十月末には竣工の豫定である

北鐵代金物資 支拂事務 愈よ繁忙

去る四日駐日滿洲國公使館より駐日ソ聯通商代表部に宛て駐日滿洲國公使館附財務官伊藤傳氏の財務官就任についての正式通告を發したが、これによつて今後通商部が日本當業者との取引成立の都度北鐵代金物資支拂契約要綱書を伊藤財務官に送附することとなる、而してソ聯外國貿易人民委員部派遣の經濟使節の日本到着と相俟つて、北鐵代金物資支拂事務はいよいよ繁忙となるものと見られてゐる

盡忠の血潮草に萠へて 來る三十日 晴れの招魂祭

全滿の遺族等も招待 新京空前の賑ひを呈せん

護國の英靈を祀る招魂祭は來る三十日午前十時から忠靈顯彰會主催、佐野警備司令官委員長となつて忠靈塔境内において神式により盛大に擧行されることゝなつた、この度の招魂祭に祀られる英靈は從來靖國神社に合祀せられてゐるもの、來る二十七日の同神社臨時大祭に新らたに祀られるもの、およびそれ以外で忠靈塔に合祀されてゐる尊き犠牲者等の凡べてを網羅するもの、當日滿洲國皇帝には畏くも侍從武官を御差遣あらせらるやに洩れ承る、なほ今回全滿各地から遺族、戰役傷者を招待し、汽車賃、宿泊費その他一切の經費は主催者において負擔し式典終了後は案内人を附して市内を見物させ各劇場、常設館等の無料入場劵を與へ、記念品を贈る等あらゆる慰安の道を講ずるはずで近く招待狀を發送することゝなつてゐるが通知洩れの方は軍司令部副官部宛て申出でられたいと、なほ祭典の前夜には宵祭が催され境内には一帶に雪洞を吊し、五十餘軒の夜店は客を呼んで内地氣分を滿喫させるはずである、祭典當日は境内に道場、舞台等を設け奉納武術試合、奉納角力藝者の手踊り、その他各種の催しが盛大に行はれ新京空前の賑ひを呈するものと豫想されてゐる

招魂祭係長

來る三十日擧行される招魂祭の委員は關東軍、飛行隊、警備司令部、海軍部、滿洲國等に亙り全員五十餘名であるが各係長は次の通り

委員長　佐野警備司令官
庶務係長　上野大佐
接待係長　品川主計
祭典係長　川村總領事
遺族係長　四戸鄉軍分會長
設備係長　武田地方事務所長
催物係長　御厨文書課長
警備係長　馬場中佐
救護係長　田中軍醫正
團体係長　小林大佐

婆婆の嫌ひな男!!! 晴天一日で又別荘へ

谷口刑事の名を騙つて失敗

領事館刑務所を執行猶豫といふ特別の恩命に浴して出獄したその翌日領警署谷口刑事の名を騙り大丸運送店より百五十圓を捲きあげやうとして惡事露見、再び元の刑務所に逆戻りをした不謹愼極まる男がある、本籍宮城縣遠田郡常鄉村二鄉櫻井甚九郎（二七）は窃盗罪にて新京總領事館に於て懲役六ケ月三年間執行猶豫といふ恩命に浴して十日出獄したが惡心倚身中から去らず豫て刑務所の未決に收監中同房にゐた市内日ノ出町一丁目大丸運送店々員江川大郎（假名）と知合となり事情を知つてゐるのを奇貨とし十一日午前九時頃驛前滿人某宅の電話を利用して「僕は領事館署の谷口だが江川の事件は奉天の方の取調べも濟んだので近く出るやうになつたそれについて保釋金其他に百五十圓程要するといふ命令があつたから今すぐそちらへ取りに行くから準備をして置け」と谷口刑事の名を騙つて大丸運送店へ電話をかけたが大丸運送店では「谷口刑事は知つてゐるがどうもおかしい」とて領警署へ電話をかけて問合せた所當の谷口氏が電話口に出たので或は本署の谷本刑事ではないかと本署へ問合せたが全然關知しないので領警署ではテッきり最近出獄した者と目星をつけ大丸と連絡をとつて待つてゐる中午後二時頃になつて再び大丸へ電話をかけて「今日は領事が出張不在だから領事館までもつて行かないが金は渡してやつてくれ」と云つて寄越して間もなく一人の男が大丸へやつて來たので大丸では豫て領警署と打合せてゐるのですぐ署へ電話をかけ谷口刑事と李巡捕がオートバイで飛んで行つて見ると櫻井は椅子にドッカと腰を落ちつけて悠々と刑事になりすましてゐるを有無を言はせず逮捕した谷口刑事の名を騙つて百五十圓を巻きあげそこなつた櫻井甚九郎は係員の取調べに對し「出獄したが無一文のところより歸國する旅費にするためにやつた」と惡びれた顔もせず語つてゐた

馬を騙つては精悍無比と云はれる蒙古人も馬を奪つたらからつきし駄目ださうだ 幼い時から馬を下駄のやう心得てゐる蒙古人、下駄をぬがせたら洗足で河原を歩かせられるやうな憐みらしい 四平街だつたか公主嶺だつたかに軍官教習所みたいなところがあつて各所から青年を集めて訓練を施してゐる 徒歩で突撃をやらしたら、一二町も走るとへたばるが馬に乘せたら人が違つたやうな凛々しき武者ぶりを示すさうだ

地方事務所野球 庶務對建築 ドロンゲーム

CD主催地方事務所各係リーグ庶務對建築係の試合は十一日庶務攻にて開始され兩軍共に接戰を演じたが日没の爲八回九對九でドロンゲームとなつた再試合は本リーグ最終日に行はれる

各部局對抗野球 産業調査局三 對民政部七

産業調査局對民政部の試合は十一日午後四時三十分大同廣場にて民政部先攻に開始されたが七對三で産調惜敗閉戰六時十分

十日から 市内に撒水

新京衛生隊ではさる十日からいよ〳〵市各主要道路（中央通、驛前、日本橋通り、東五條通り、吉野町、祝町、敷島通り）に撒水自動車一台で撒水を開始した、昨年も同様十日から撒水を開始した

西公園の賣店 果然人氣を呼ぶ

最高が實に九百圓で落札

この夏は西公園でといふわけで人氣を呼び、本年は賣店申込が實に四十五名といふ多數に及んだが、十一日地方事務所から鯉沼地方係長、三浦公費主任、吉田公園事務所主任ら立會の下に入札に附した結果、左記の人々に落札した、最高が誠忠碑下の精養軒出店が九百圓、といふ高値で以下普通五、六百圓、最低の寫眞屋が二百圓であつた、本年は昨年以上に競爭がはげしく各箇所ともどん〳〵せり上げ昨年の最高七百圓に比較して二百圓も一躍し全部で約千圓方の增收となつたので事務所でも植樹その他の公園施設につぎ込めると大喜びである

落札者住所氏名

一號地　祝町二丁目二十六番地　寶來屋　原　種一郎
二號地　曙町四丁目十二番地　製茶業　奥村　敏雄
三號地　入船町四丁目
四號地　三笠町四丁目三番地　新京閣　牧野　道子
五號地　東二條通り五十二番地　飲食店　べ方竹藤ヨヲ
六號地　吉野町二丁目十番地　土産物商　高橋　元藏
七號地　東一條通り十七番地　寫眞業　々野　茂
八號地　吉野町一丁目五番地　精養軒　藤井　甚作　寫眞業　中川　定一

なほ右は夏期六ヶ月に亙る土地使用料といふ名目である

前京鐵の幹部 暇乞の挨拶

滿鐵々道部新職制により奉天鐵道事務所長を命ぜられた白井喜一氏、北鮮管理局庶務課長を命ぜられた中山恕世氏、先に哈爾賓に轉出の芳賀千代太氏等前新京鐵道事務所幹部は十一日挨拶に來社した

滿洲三都で 二科展覽會

代表三畫伯も來滿

二科會の繪畫彫刻の展覽會が大連、奉天、新京に於て開催されることとなつたが奉天、新京では最初の事であり期待を持たれてゐる同會代表としては石井柏亭、藤田嗣治、田口省吾の三畫伯が來滿する筈である

大連　四月廿五日—廿九日
奉天　五月　四日—六日
新京　五月十一日—十四日

滿鐵運動會 幹事會

滿鐵運動會幹事會は十七日午後一時三十分から地方事務所會議室で開催昨年度決算報告十年度豫算並に新幹事所屬長推薦者の詮衡を行ふことになつた

歸國ソ人を犒ふ…… 舞踊會の催し

寛城子町會の美擧

住みなれた滿洲を後に、母國ソ聯へ引揚げて行く、舊北鐵從業員等の長い間滿洲に盡した勞苦をねぎらふため、沿線各地でも各様の慰勞、送別方法が講ぜられてゐるが、我が寛城子でも、引揚げの日を待つて思ひ出深い日を送つてゐるフエジソフ驛長以下卅五家族を送るため寛城子町會が主催となつて、來る十四日午後一時より同町北鐵クラブ大ホールに於て送別を兼ねた「舞踊の夕べ」を開く事になつた當日は特にハルビン一流の舞踊家を招くやら、日本料亭美形連の手踊を出すやら三國交驩社交舞踏會を催すやらで大いに彼等を慰め、美しい友愛をそゝぐことに決定してゐる尚同舞踊會後日滿兩國人より心をこめた茶菓の接待をせ記念品を送る由である

女人婆羅門

（讀賣上演映畫化）

長田秀雄　作
西正世志　畫

（百十四）

潮騒の聲（五）

お藤と梅子は、砂地の寄樹の蔭に腰を下して話しこんだ。——梅子の長い物語りが始まる……。

「丁度妾が八つの時でございます。忘れも致しません、それは四月の廿日の日、父上（中野四郎兵衛）に連れられて、清水港から荷船に乗つて、靜岡のお祭りを見物に參りました。そしてその歸る途中、ひどい暴雨のために難船しまして、もうとても命の助からない所を、アメリカの船に助けられたのでございます。そしてフランクといふお方の介抱を受けまして、からだももと通りになり、ハワイとやらの國に連れて行かれ、向ふで教育をうけまして、それからこの小笠原島へ來たのでございます。郷里の方には、その後もたよりを致しましたが、向ふから何のたよりもございません。毎日、東の空を、朝晩眺めて、お母さんやお父さんをお慕ひして居りました。神樣や佛樣に早くお父樣やお母樣にお目にかゝれるやうにとお祈りをしない日はございませんでした。こゝでお母さまにお目にかゝれるなんて、ほんとうに夢でございます。これも神樣や佛樣のひきあはせでございます。さうしてお母樣、お父上さまや弟は如何なさつておいでゞ御座います。どうか、おくにの方の樣子をお話し下さいませお母さま！」

梅子はお藤に取縋るやうにして泣き入つた。お藤はそれをひきよせて、しつかりと抱きしめながら

「さあ、それは、なか／＼一口には話せないけれど……梅子、お母さんは、何だか胸が苦しくなりました。あまり突然だつたし……お前はこんなに大きくなつてるし……何から話していゝやら……」

さう云つてうつむいたお藤の胸は、はりさけるやう、苦しがつた——夫の中野四郎兵衛のこと、長男のこと等次から次に、嫌な事物を繰り揚げるやうに思ひ出がよみがへつて來て、針で刺されるやうに胸が痛むのだつた。

「あつ、お母さま、どうなすつたの？」

砂地に倒れたお藤の口から、眞赤な血が流れて居た。そして——白い砂の中に滲み込んで居た。

「いえ、何でもない、心配おしでない！」

お藤は、口を押へて立上つたが

梅子は氣遣はしげに——。

「それでは妾の家までお出し下さいませ、さ、早く、若し病氣がひどくなると、大變ですから……ねお母さま」

「それではお前、助けて行つて頂戴！」

お藤は、梅子の肩につかまつて眼路の限りはる／＼と續いた長い汀を歩いて行つた。

何處まで行つても、汀は盡きず青い波がよせてはかへして、白いしぶきがさつ、さつと飛立つてゐるばかりだつた。

やうやく汀が盡き、岩の多い岬の突き出た山路に出て來ると、眞黒い大きな松の樹が亭々と茂つて、薄暗い程奥深い松林を作つてゐた。

その松林の向ふに、くつきりと眞白い洋館が見える……。

松林の中から續いた立派な舗道を、お藤と梅子は靜かにその洋館に向つて歩いて行くのだつた。

洋館の入口まで來ると、棚の上に取附けた鳥籠の中から、眞白い鸚鵡が、可愛い嘴を開けて、

「カムイン、カムイン」

と、云つた。

「お母さま、此處が私の家なのよ」

「まあこんな綺麗な大きい家！」

お藤は花園と、洋館と、硝子窓と、カアテンなどの、華やかな色彩美に眼もくらくうつとりと、見とれて立止まつてゐた。